

平成 30 年度 野鳥モニターによる 足立区野鳥調査報告書



【表紙写真：メボソムシクイ】提供：野鳥モニター 鈴木 清文 氏

平成 30 年 10 月舎人公園にて撮影

調査対象日外に撮影したため、確認種には記載なし。

足立区では、平成4年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

平成30年度は、39人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、76種、延べ32,027羽の野鳥を確認しました。

3年連続で確認個体数が減少しており、全体的にゆるやかな減少が続いているように感じられます。

区は、一定の方法で調査を長く続けていくことで、野鳥を通して自然環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの自然環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと思っています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

令和元年10月 足立区環境部環境政策課

～ 目 次 ～

調査概要	1
調査結果	
1 年間確認種数と個体数	4
2 区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3 調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4 調査月別確認種数と確認個体数	8
5 確認個体数ベスト 10 及び経年変化	9
平成 30 年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録	14
資料編	55
資料 1 平成 30 年度野鳥モニター名簿・担当地域	56
資料 2 調査月別確認種と個体数	58
資料 3 ブロック別確認種と個体数	60
資料 4 ～ 9 各調査月に確認された野鳥	62
資料 1 0 年度別確認種及び個体数一覧	69
資料 1 1 平成 30 年度野鳥モニター活動記録	72

調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。

調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にす意識を育てる。

2 調査期間

平成30年5月1日～平成31年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩き(時速2km程度)ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

(2) 調査人数

野鳥モニター39名による。

(3) 調査項目

種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

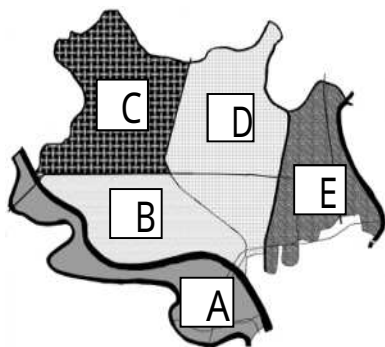
(4) 調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から午前10時までの間の2時間程度(調査回数は各地域とも年6回)。

4 調査地域

野鳥モニターの居住地周辺で、野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定した。

ブロック	番号	地域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】

Aブロック	9地域
Bブロック	8地域
Cブロック	5地域
Dブロック	8地域
Eブロック	10地域

ブロック	番号	地域
C	18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
	20	舎人公園
	21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D	23	梅島一～三丁目
	24	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
	25	島根全域
	26	西綾瀬全域
	27	西保木間一～三丁目
	28	花畑三～五丁目
	29	保木間一～三丁目
	30	保木間四～五丁目
E	31	大谷田一丁目
	32	大谷田二（中川含む）～五丁目
	33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（圀川、中川含む）
	37	神明南一・二丁目、北加平町
	38	東和全域・谷中公園
	39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	40	東綾瀬公園

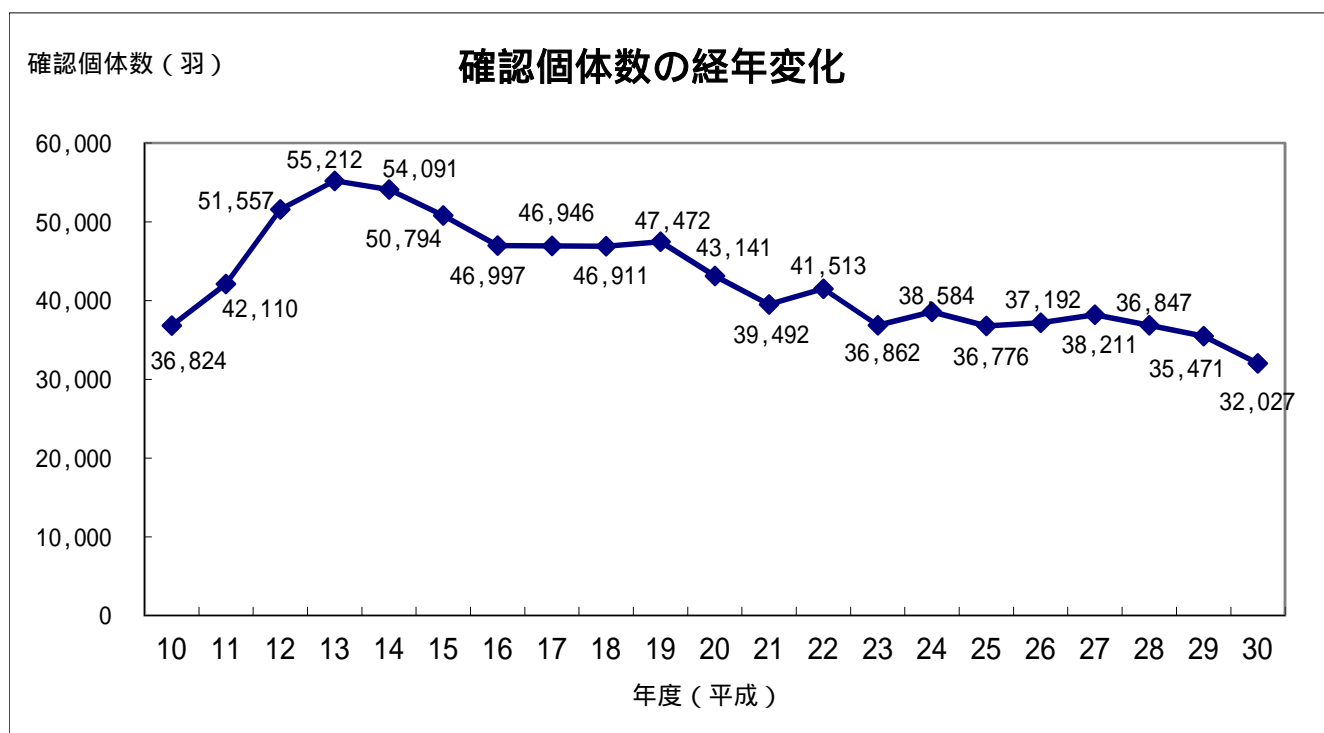
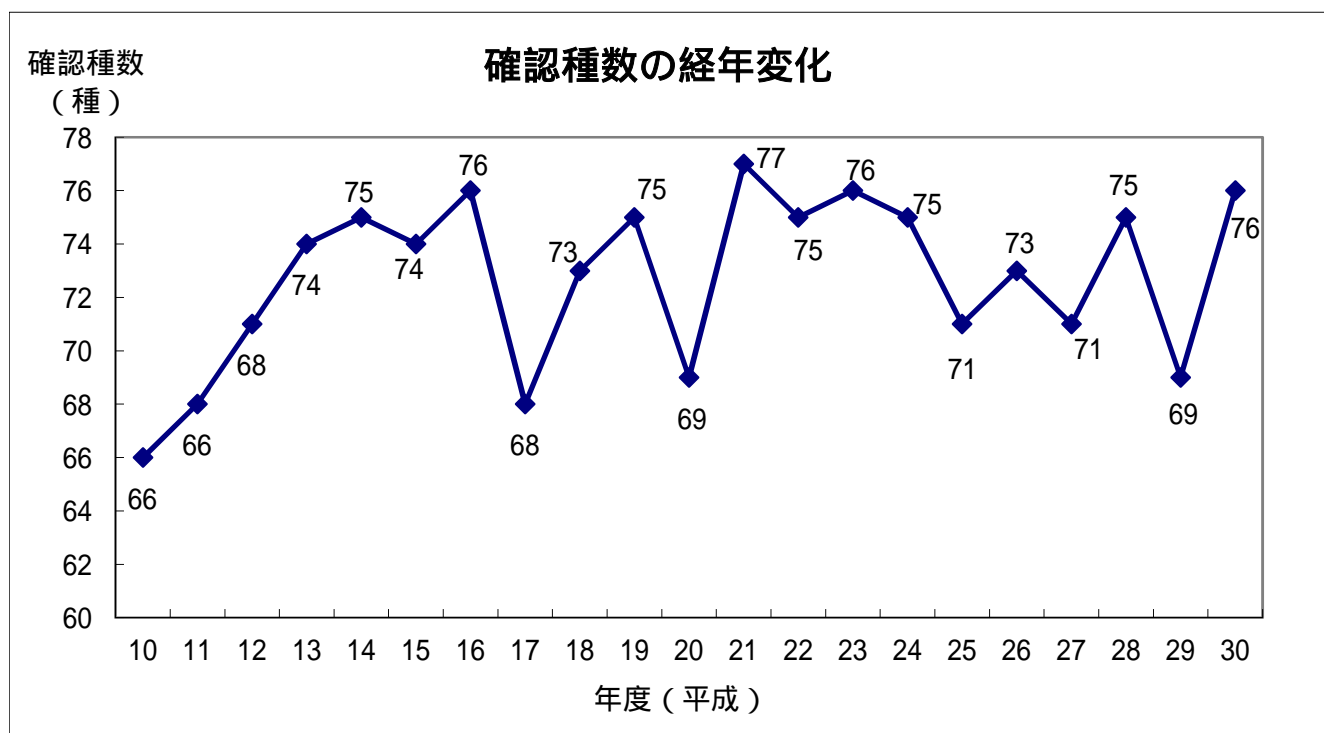
平成30年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成30年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	39	41	41	41	40	40	40	40	40

調査結果

1 年間確認種数と個体数

平成30年度の調査で確認された野鳥は、76種、延べ32,027羽であった。



経年変化は過去20年分

NO	目名	科名	種名	合計	NO	目名	科名	種名	合計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	5	44	スズメ	カラス	オナガ	897
2			ヒドリガモ	698	45			ハシボソガラス	879
3			マガモ	13	46			ハシブトガラス	1,274
4			カルガモ	803	47		シジュウカラ	シジュウカラ	575
5			ハシビロガモ	3	48		ヒバリ	ヒバリ	22
6			オナガガモ	178	49		ツバメ	ツバメ	487
7			コガモ	133	50		イワツバメ	27	
8			ホシハジロ	87	51		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,640
9			キンクロハジロ	177	52		ウグイス	ウグイス	14
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	47	53		メジロ	メジロ	327
11			カンムリカイツブリ	5	54		ヨシキリ	オオヨシキリ	111
12	ハト	ハト	キジバト	746	55		セッカ	セッカ	2
13	カツオドリ	ウ	カワウ	639	56		ムクドリ	ムクドリ	7,460
14	ペリカン	サギ	ゴイサギ	13	57		ヒタキ	シロハラ	2
15			アオサギ	94	58			アカハラ	2
16			ダイサギ	36	59			ツグミ	270
17			チュウサギ	2	60			ジョウビタキ	33
18			コサギ	44	61			イソヒヨドリ	5
19	ツル	クイナ	クイナ	2	62			コサメビタキ	1
20			バン	42	63			キビタキ	1
21			オオバン	628	64			スズメ	スズメ
22	チドリ	チドリ	コチドリ	6	65		セキレイ	キセキレイ	1
23			メダイチドリ	18	66			ハクセキレイ	443
24			シギ	セイタカシギ	4			67	セグロセキレイ
25		タシギ		2	68			ピンズイ	16
26		チュウシャクシギ		4	69			タヒバリ	6
27		クサシギ		1	70	アトリ	アトリ	34	
28		キアシシギ		21	71		カワラヒワ	514	
29		イソシギ		47	72		シメ	24	
30		カモメ	ユリカモメ	1,168	73	ホオジロ	ホオジロ	36	
31			ウミネコ	17	74		カシラダカ	1	
32			カモメ	18	75		アオジ	41	
33			セグロカモメ	28	76		オオジュリン	54	
34			オオセグロカモメ	1		種名特定できず	カモ S P	76	
35	コアジサシ	18		カイツブリ S P	1				
36	タカ	タカ	トビ	1	カモメ S P		6		
37			ツミ	13	カラス S P		16		
38			オオタカ	1	ヒタキ S P		1		
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	14	ホオジロ S P	4			
40	キツツキ	キツツキ	コゲラ	10	確認種個体数合計(羽)	32,027			
41	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	12	S P...種名まで特定できなかったもの				
42			ハヤブサ	3					
43	スズメ	モズ	モズ	61	(参考)かごぬけ	ワカケホンセイインコ	11		

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

平成30年度に営巢・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、16種であった。

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1	アオサギ																		
2	イソシギ																		
3	イワツバメ																		
4	ウグイス																		
5	オオヨシキリ																		
6	オナガ																		
7	カイツブリ																		
8	カルガモ																		
9	カワセミ																		
10	カワラヒワ																		
11	キジバト																		
12	コアジサシ																		
13	ゴイサギ																		
14	コゲラ																		
15	コサギ																		
16	コチドリ																		
17	ササゴイ																		
18	シジュウカラ																		
19	スズメ																		
20	セッカ																		
21	チョウゲンボウ																		
22	ツバメ																		
23	ツミ																		
24	ハクセキレイ																		
25	ハシブトガラス																		
26	ハシボソガラス																		
27	バン																		
28	ヒバリ																		
29	ヒメアマツバメ																		
30	ヒヨドリ																		
31	ムクドリ																		
32	メジロ																		
33	モズ																		
年度合計		13	16	16	17	17	18	18	20	21	17	15	9	15	8	10	15	13	16

「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したものの平成26年度までは調査日に限り確認された種を計上（調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと予想）平成27年度報告書からは調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載

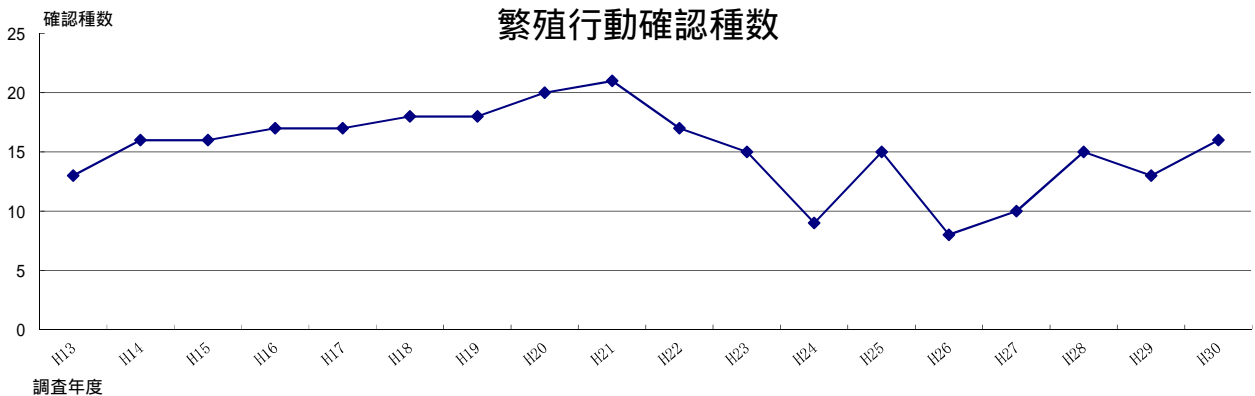
種名の網掛けは平成30年度に繁殖行動が確認された種

= 幼鳥のみ

H13年～15年に計上されていたコムクドリは、H26年報告書から削除

H28年に計上されていたアイガモ・チュウシャクシギは、H29年報告書から削除

= ヒアリング調査によるため、観察記録に記載なし。



3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

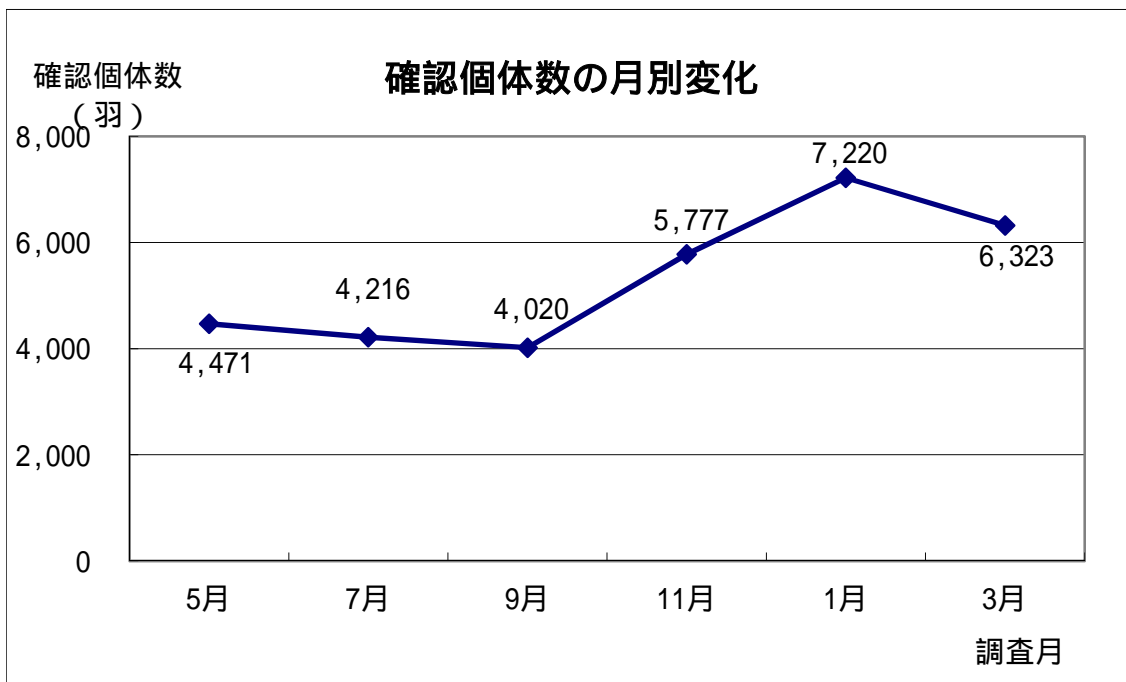
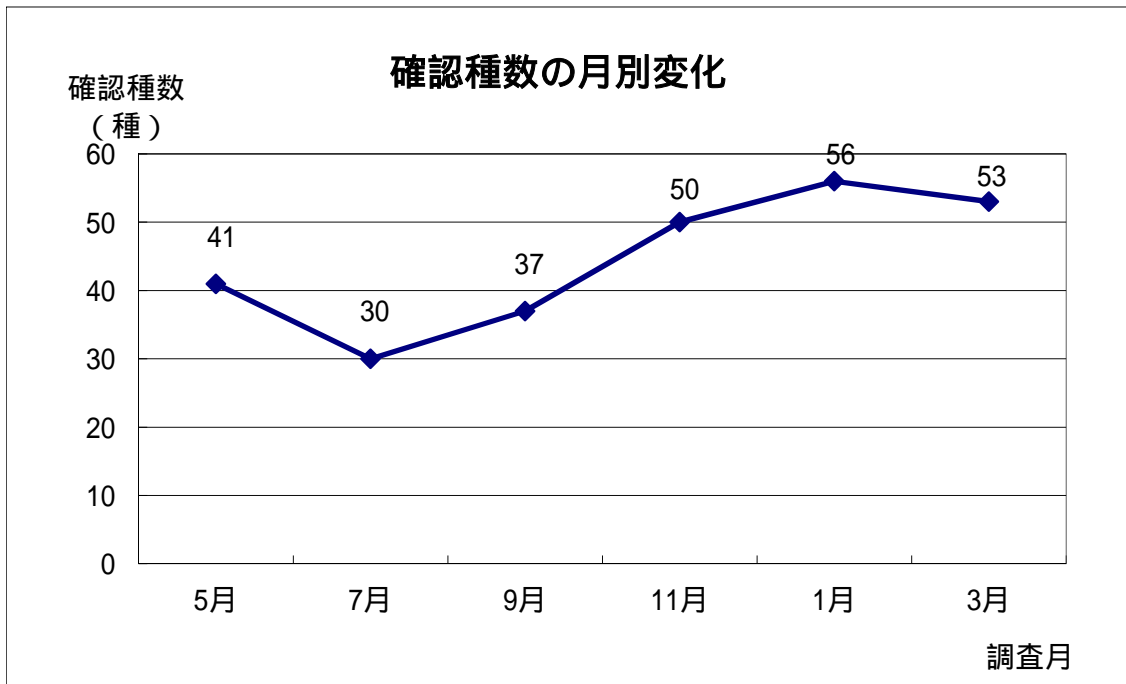
クサシギ（チドリ目シギ科）

確認月：平成31年1月
地域：Cブロック
区分：川

旅鳥または冬鳥として河川、湖沼、水田、湿地に渡来し、関東以西で越冬する。群れにはならず、単独か数羽でいる。

（文章引用：決定版日本の野鳥650（株）平凡社）

4 調査月別確認種数と確認個体数



5 確認個体数ベスト10及び経年変化

調査結果
5 確認個体数ベスト10及び経年変化

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10

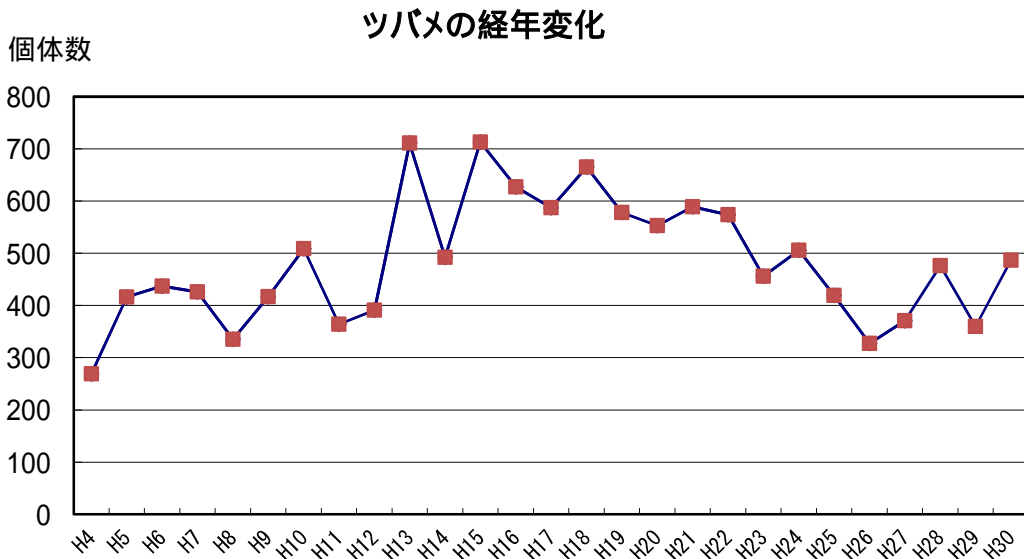
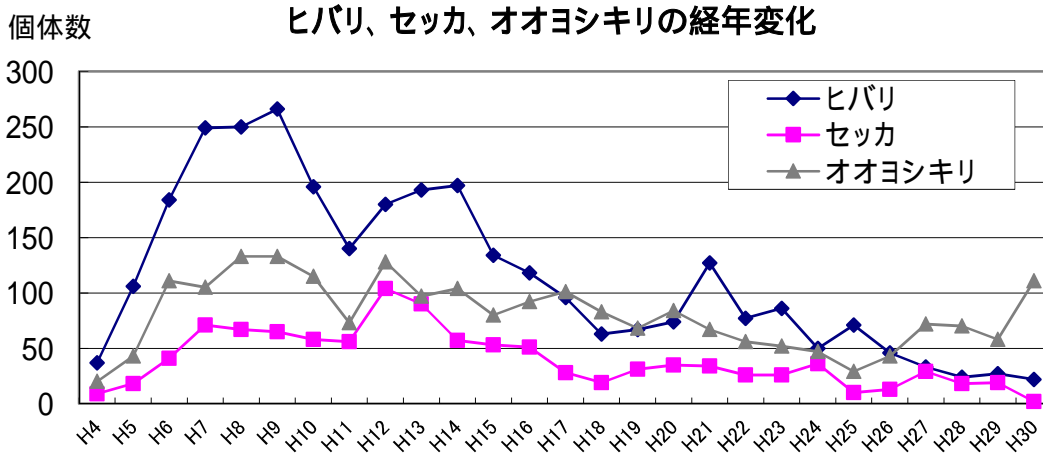
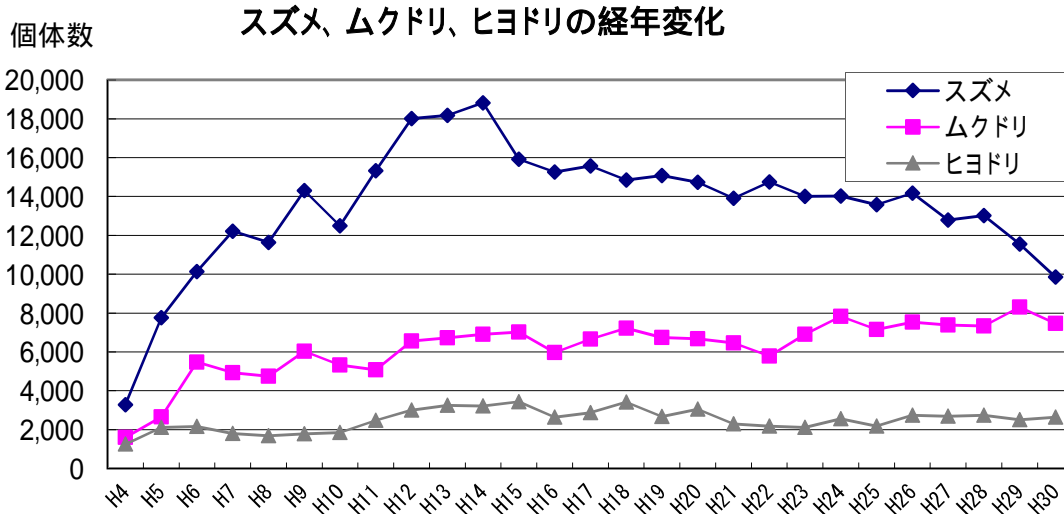
順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月	年間
1	スズメ 1,707	スズメ 1,596	スズメ 1,676	スズメ 1,592	スズメ 1,552	スズメ 1,730	スズメ 9,853
2	ムクドリ 1,302	ムクドリ 1,343	ムクドリ 1,186	ムクドリ 1,239	ムクドリ 1,286	ムクドリ 1,104	ムクドリ 7,460
3	オナガ 211	ツバメ 235	ハシブトガラス 204	ヒヨドリ 1,002	ヒヨドリ 793	ヒヨドリ 568	ヒヨドリ 2,640
4	ツバメ 159	オナガ 187	オナガ 178	ハシブトガラス 245	ユリカモメ 682	ユリカモメ 328	ハシブトガラス 1,274
5	ハシブトガラス 158	ハシブトガラス 185	ハシボソガラス 159	カルガモ 179	ヒドリガモ 414	オオバン 242	ユリカモメ 1,168
6	カルガモ 123	ハシボソガラス 125	ツバメ 93	ユリカモメ 147	カワウ 286	ツグミ 240	オナガ 897
7	ハシボソガラス 120	キジバト 112	シジュウカラ 90	ハシボソガラス 138	オオバン 250	ハシブトガラス 235	ハシボソガラス 879
8	ヒヨドリ 118	カルガモ 98	ヒヨドリ 88	オオバン ハクセキレイ	ハシブトガラス 247	ヒドリガモ 197	カルガモ 803
9	キジバト 117	シジュウカラ 72	キジバト 83	132	カルガモ 191	カワラヒワ 197	キジバト 746
10	オオヨシキリ 100	ヒヨドリ 71	カルガモ 58	オナガ 102	キジバト 166	ハシボソガラス 193	ヒドリガモ 698

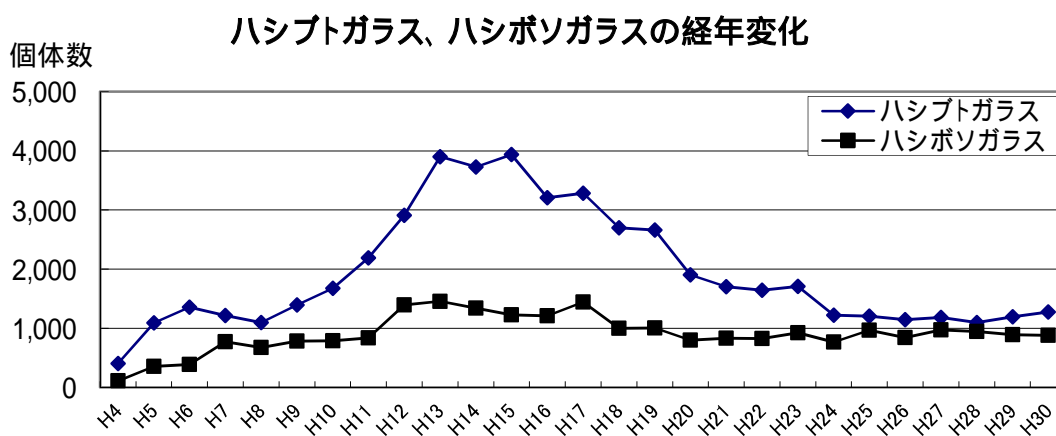
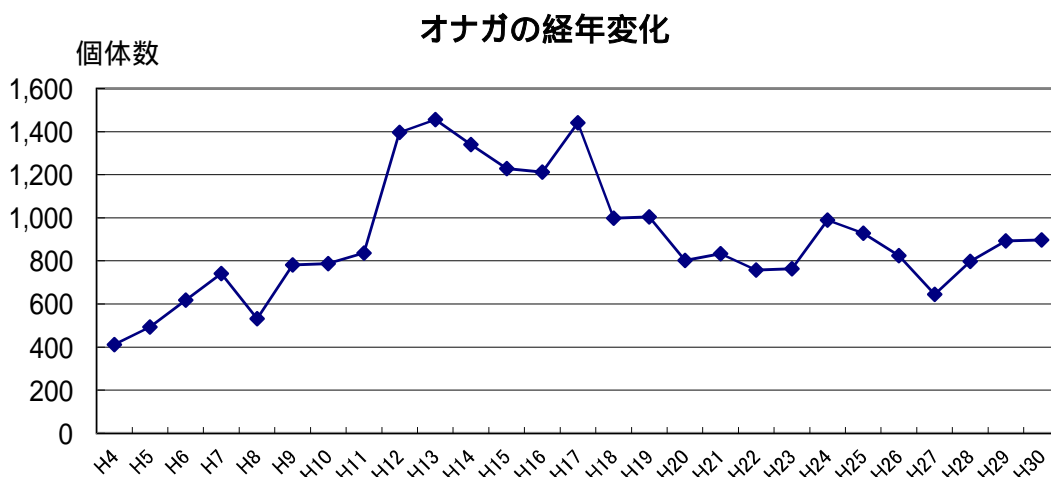
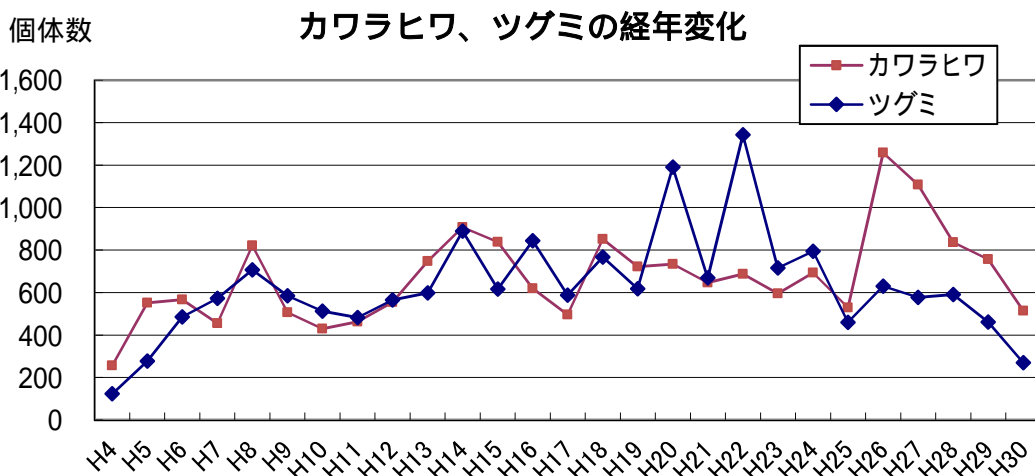
(2) 年間の確認個体数ベスト10の経年変化

調査を開始した平成4年度から、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。平成30年度の年間確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、26,418羽で、全体の約82%に相当する。

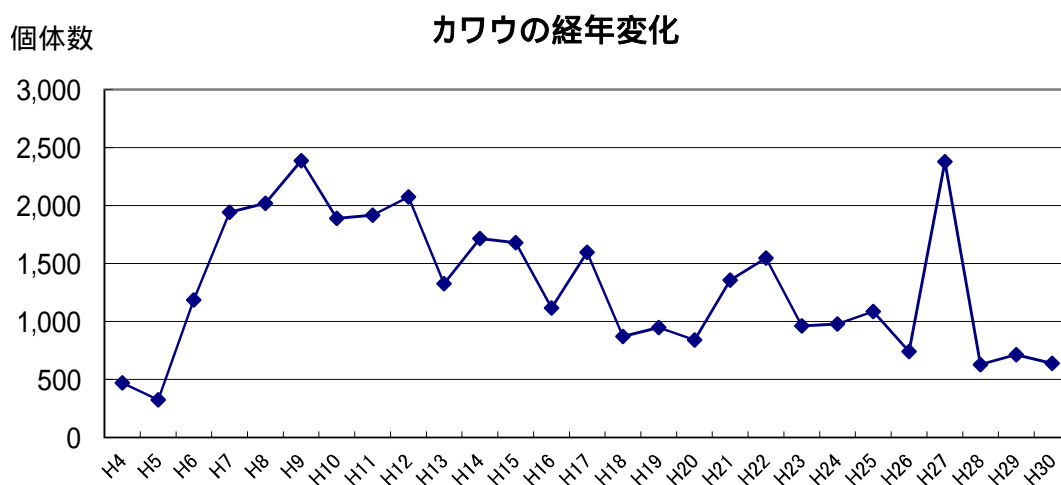
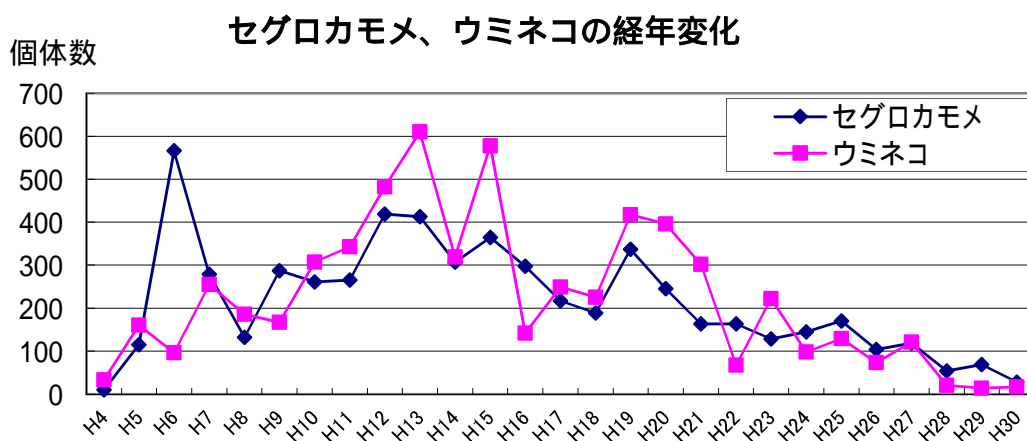
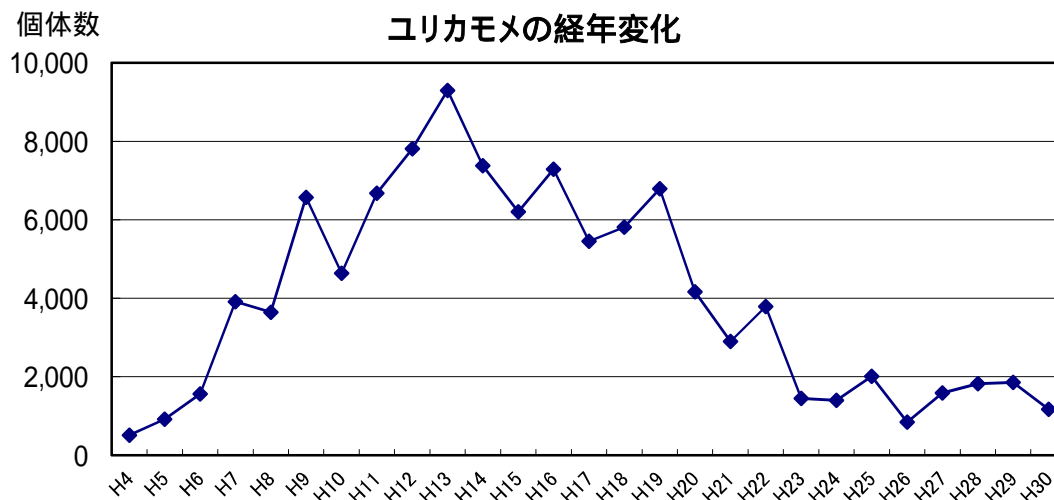
順位	種名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1	スズメ	14,173	12,779	13,013	11,545	9,853
2	ムクドリ	7,527	7,382	7,332	8,301	7,460
3	ヒヨドリ	2,742	2,689	2,734	2,512	2,640
4	ハシブトガラス	1,146	1,184	1,097	1,197	1,274
5	ユリカモメ	848	1,588	1,825	1,859	1,168
6	オナガ	824	644	798	893	897
7	ハシボソガラス	842	975	946	893	879
8	カルガモ	687	852	563	707	803
9	キジバト	615	739	710	638	746
10	ヒドリガモ	727	875	923	593	698
	合計	30,131	29,707	29,941	29,138	26,418

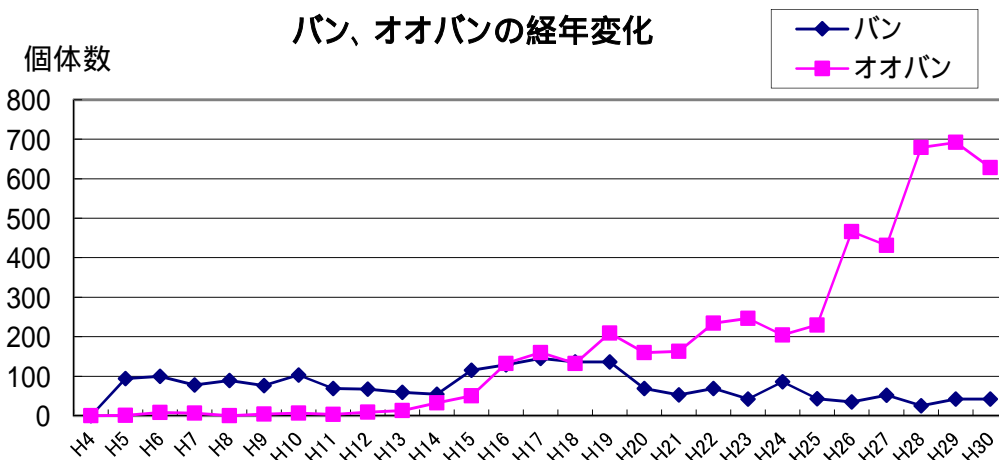
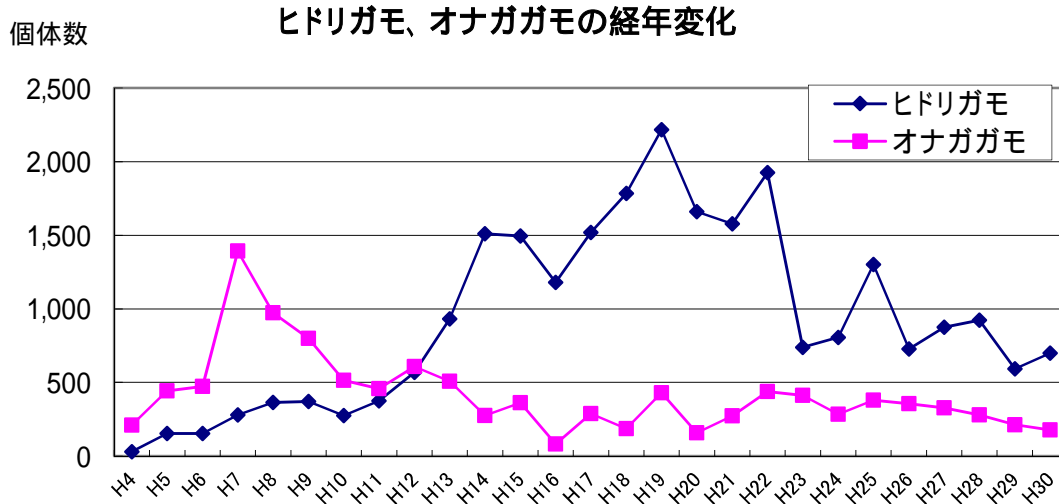
(3) 主な種の経年変化





5 確認個体数ベスト10及び経年変化





平成30年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録

目次

平成30年4月観察記録	15
平成30年4月繁殖行動確認	16
平成30年5月観察記録	17
平成30年5月繁殖行動確認	21
平成30年6月観察記録	24
平成30年6月繁殖行動確認	25
平成30年7月観察記録	26
平成30年7月繁殖行動確認	31
平成30年9月観察記録	32
平成30年11月観察記録	38
平成30年11月繁殖行動確認	43
平成31年1月観察記録	44
平成31年3月観察記録	50
平成31年3月繁殖行動確認	54

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
8	スズメ シジュウカラ ムクドリ カワラヒワ	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた月ではありませんが、繁殖期の状況調査というテーマでいつもと同じように回ってみました。前月と大きく変わったのがスズメの行動です。小さな群で行動しているのは同じですが、観察した群れのほとんどが地上で採餌していて近づいても飛び立たず多少距離を保つだけです。餌探しに夢中という感じでした。1羽で鳴いている固体も見ましたが、鳴声が強くなっているようです。シジュウカラのさえずりも明瞭になりました。 ・繁殖行動として見られたものは、ムクドリ及びカワラヒラの巣材運びです。ムクドリは草片をくわえて住宅地の間に消え、カワラヒワは羽毛のようなものをくわえてヒマラヤ杉の中に飛び込みました。 	Aブロック 馬場 猛夫

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年4月(繁殖行動確認)

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
コチドリ	舎人四丁目(毛長川)	22・30	・2回の交尾を確認。	Cブロック 鈴木 清文
ツミ	見沼代親水公園・諏訪神社付近(舎人三丁目/二丁目隣接地)	6・8	・6日：交尾を確認。 ・8日：諏訪神社近くの松の木にカラスの巣の残骸に新たな枝等を運んで巣を補強している。	Cブロック 鈴木 清文
ハシブトガラス	大谷田一丁目	8	・ペアの1羽が、巣作り用?木の枝を啜っていた。	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁目)
ムクドリ	第6天公園	7	・地面で交尾、目撃。	Eブロック 大和田 司
	千住東二丁目	8	・巣材運び。	Aブロック 馬場 猛夫
カワラヒワ	千住仲町公園	8	・巣材運び。	

《モニター担当未配置地区》

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
ツミ	西中第二公園・高道東公園(西新井四丁目)	7・9・12	・7日/9日/12日：交尾を確認。 ・12日：西中第二公園の銀杏の木に、周囲の木の枝を集めて巣作りを確認 ・5月10日/14日/24日：巣に留まる親鳥を確認。	Cブロック 鈴木 清文

平成30年5月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	ツバメ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年(15種)より多く、19種のトリが見られた。 ・夏鳥はツバメ(初認3/29)のみで、コアジサシ(同4/16)、オオヨシキリ(同4/24)、セッカ(同4/27)は残念ながらみられなかった。 ・1W前に群れていたツグミは1羽のみみられた。 	Aブロック 直木 大助
2	ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・冬鳥もいなくなり川鳥達もほとんどいなかった。ハシブトガラスが巣材をくわえて元気に飛び回っている姿を何羽も見かけた。 ・特別支援学校付近の電信柱上にハシブトガラスであろう巣を確認。 	Dブロック 小丸 望美
4	ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・声は多く聞こえるのですが、その割りに姿を見せた個体は少ない感じでした。旧綾瀬川に沿って歩いていると頭上をハシブトガラスが飛びました。通り過ぎるとハシブトガラスが2羽になったので戻ってみるとモビングが始まりました。周囲を探すと高速の高架裏に巣を発見しました。 ・前月見たカワラヒワの営巣場所と思われる場所も注意してみました。緑も深くなり残念ながら巣を確認することはできませんでした。巣があるとしてもとっくに巣立っているとは思いますが。 	Aブロック 馬場 猛夫
4	チュウシャクシギ チョウゲンボウ メダイチドリ キアシシギ	<ul style="list-style-type: none"> ・満潮で、干潟や木工沈床は水没していた。 ・西新井橋近くの木工沈床の杭の上にチュウシャクシギが2羽止まっていた。 ・西新井橋と扇大橋の中間付近で、チョウゲンボウが荒川方面から土手を横切り、北側の市街地方面に飛び去って行った。 ・西新井橋と扇大橋の中間位の川の中の杭の上にメダイチドリとキアシシギが止まっていた。帰りには、チュウシャクシギが4羽止まっていた。 ・パークゴルフ場の上空を、1羽のチュウシャクシギが3回ほど旋回して、荒川に降りたらしい。満潮のため、干潟が水没していたので餌を探していた? 	Bブロック 渡辺 浩
4	ツバメ コアジサシ	<ul style="list-style-type: none"> ・中川では連休、初夏の風景、水上バイクが行き交う中をツバメ、コアジサシがせわしく飛び交い、次々とダイビングしていた。 	Eブロック 嵯峨 信子
5		<ul style="list-style-type: none"> ・西の風少し涼しい中、出発。雲一つない快晴。3月に比べ、木には葉が生い茂り、叢の雑草も背が高くなり、小鳥の姿を見つけるのが難しかった。葉陰に隠れて見えなかったものが、見えた数より多かったかも知れない。探すのに時間が掛かり、普段より時間が掛かった気がする。終了時、日差しは強くなっていたが、風が爽やかで気持ち良かった。最後まで雲一つ無し。 	Eブロック (東和全域と 谷中公園) 大和田 司
5	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・花畑川「つきみはし」から川の上に張られている鯉のぼりが見える。続けて調査開始場所に向かいながら目、耳のアンテナを張るも野鳥を見かけない。 ・午前6時30分、調査開始。神明コミュニティー広場は工事が終了し、静けさが戻っているが、野鳥の姿なし。 ・午前6時40分、神南公園でもほとんど野鳥の姿なし。同所で3名がラジオ体操をしていて、やはり「普段より鳥は少ない」とのこと。 ・午前7時、ローソン足立神明南店前交差点の信号柱上の配線ボックス下部の隙間からスズメが出入り。幼鳥も含み、営巣です。 ・午前7時10分、雪見公園。 ・午前7時30分、神明ふれあい公園。期待した両公園ともに野鳥が少なかった。 	Eブロック 宮田 美徳
5	オナガ ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・ツバメが毎年営巣していた工務店の駐車場。今年はツバメが来ないとの事。 ・大谷田公園で、オナガが騒いでいます。2羽のハシボソガラスが傍の木の枝を動き回っています。近くにオナガの巣があるのでしょうか。警戒している様子です。 	Eブロック 谷田貝 知子

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年5月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
6		<ul style="list-style-type: none"> ・おだやかに晴れた河川敷は野球、ジョキング、自転車など、健康的な風景がひろがっていた。しかし野鳥の姿は極端に少ない。ドバトすら目立つ群れはいなかった。 	Bブロック 添田 善雄
6	スズメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・快晴の朝です。今朝のスズメ達、トランス附近よりツツジの植込みの間に出入りが目立ちます。昨日は午後3時頃ベルモント公園散歩の折、ムクドリ25羽、スズメ20羽位ぶつかり合いながらも芝をつついていきます。来園者の方々もいとしそうに観察です。然し今朝の公園は静かです。 	Dブロック 久保田 靖子
11	コチドリ スズメ ムクドリ キジバト コサギ ダイサギ カワラヒワ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の時間帯に干潮(毛長川)となる5月11日に調査を実施。 ・冬に多かったコガモは既に渡ってしまい確認できなかった。(5月2日には12羽が残っていた) ・4月下旬から確認されているコチドリのペアが干潟で餌を探していた。 ・干潟でスズメ、ムクドリ、キジバトの水浴びを観察した。 ・コサギ、ダイサギが毛長川を移動し、浅瀬で小魚等を捕獲していた。 ・カワラヒワは川岸にある菜の花の種を食べていた。 ・ツバメが営巢の為か干潟の土を運んでいた。 	Cブロック 鈴木 清文
12	タシギ イソシギ	<ul style="list-style-type: none"> ・あいにくの満潮で、かろうじて波消し蛇籠の上だけ水から出ていました。その上にじっとしているタシギ2羽とせわしなくエサ取りをするイソシギ2羽を確認しました。 ・20年くらい前は浅草でもカワラヒワを普通に見かけましたが、ここ10年はさっぱり見なくなっていました。しかし今月浅草でカワラヒワの声を聴きました。今回の調査でも声を聴くことができました。復活の予兆かもしれません。今回カラスを見なかったです。 	Aブロック 綱藤 敏郎
12	キアシシギ キビタキ メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・快晴無風、ウィンドブレーカーが必要な程度の寒さから終盤は半袖短パンのランナーやコートを手を持つ人も見受けられるまで暖かくなりました。木々も春から初夏の印象に変わりつつあります。 ・隅田川沿いではキアシシギが見られました。(江戸川区河口付近で前日キアシシギとチュウシャクシギを確認していたのですが)帝京科学大学前の隅田川を飛び回っていました。同定に手間取りましたが、対岸に降りたところで確認できました。 ・今年はキアシシギが多いのでしょうか。 ・本日の目玉はキビタキでした。千住神社に入る際にツヤのある鳴き声がしたので注意したのですが、ケヤキにメジロがおり、しばらく観察していたらキビタキ が出てきました。これから山に移動するのでしょうか。 ・千住大橋付近の工事が終わり、迂回せずに橋戸稻荷神社まで行けるようになりました。 	Aブロック 中村 博一
12	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・青い空、みずみずしい若葉、穏やかな荒川、のどかな風景はどこまでも広がっていました。ムクドリは多くいました。短かい草の間から虫を見つけて、次々と飛んで行くムクドリ達、巢の材料にするのでしょうか。1羽のムクドリは小さいセロファンを落として、再び嘴にくわえようとしますが、上手くいかなくて少々時間はかかりましたが、完全に嘴にくわえることが出来飛んで行きました。 	Bブロック 森 美智子
12		<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷のヨシ原にヨシキリが確認出来ず。 	Bブロック 清水 正嗣

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
13	オナガ ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> 見沼代親水公園の途中にある諏訪神社付近、そのあたりに多い大木にオナガが数多く見られた。オナガのつがいにハシボソガラスが追い払われているのを見た。 諏訪神社の大木には去年ツミの巣があったと聞いたので張り切って探したが、私には発見できず。発見できなかったのは私が初心者だからかもしれない残念。 	Cブロック 白井 望
13	カルガモ カイツブリ バン	<ul style="list-style-type: none"> 風は冷んやり、湿めった空気を感じる朝です。天気は午後から雨の予報が出ています。 公園の木々は若葉から青葉となり、緑の美しい季節となりました。野鳥の鳴声、さえずりをたよりに鳥を観ようとしますが、葉の多い中で見つけるのに苦労します。 今朝は野鳥の動きが少なく静かで、種類個体数も少ない調査日になりました。 大池には、カルガモ、カイツブリ、バンの雛が見られました。特にカルガモの親が雛16羽を連れて移動する姿は保育園児が保母さんに連れられてお散歩のようで愛らしいです。 	Cブロック 羽賀 清行
13	ヒヨドリ ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ソメイヨシノに、サクランボがついて、ヒヨドリ、ハシボソガラスが、食べている。 	Dブロック 山田 友治
13	オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 暑くもなく、寒くもない中での観察調査でした。今日は思ったより、路上も公園も、オナガが多かった。常緑樹の新緑が美しい季節となりました。 	Eブロック 藤並 剛
14	スズメ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> スズメの繁殖行動が見られました。 夏鳥は、ツバメのみ確認できました。ツバメの巣は確認できませんでした。 	Bブロック 山崎 祐子
15	セッカ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 快晴、風弱し。 ドバト;91以上。 セッカ;5/2と5/5千住新橋上流側左岸の芦原でsong。 桑の実が色づいている。ムクドリが集まっている。 	Aブロック 長谷川 澄雄
15	カワウ ハクセキレイ	<ul style="list-style-type: none"> 快晴で程よい風もあり快適なモニターとなりました。鳥たちもこの季節の割にはそれなりの種類と数が確認できました、いつもなら飛んでいるツバメを見ることが出来なかったのが残念でした。 カワウが川の中で盛んにエサを取っているのですが、潜っては直ぐに顔を出したすぐ潜るを繰り返していました。多分小魚が沢山いてすぐに捕獲できたのではないかと思います。 扇大橋上流のワンドでハクセキレイが小魚を捕まえたのは確認出来ましたが、その後どのように料理したかは確認していません。 	Bブロック 清水 猛
16	ツバメ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 新しい家が、たくさん建って、様変わりしている。 ツバメはずい分飛んでいたが、巣を見つける事は出来なかった。 カルガモは、川ではなく草ぼうぼうの空地に飛んで来た。 	Eブロック 安藤 京子
16	カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 公園の池は朝は水が止まりカルガモの雛は見つからなかった。 一周して戻ると丘に上り休憩していたが暑くなかったのかバラの根元に移動した。 	Eブロック 半澤 ヤイ
17	カルガモ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> 荒川右岸京成線の橋梁近くのじゃり道を歩いて行くと河川敷にカルガモ2羽確認。約3m程のじゃり道を隔てたところに野良猫が1匹、そのカルガモを狙いジューッと伏せていた。カルガモの1羽は餌をついばんでいるが、もう1羽は首を上げ警戒している様子。猫もじゃり道があるのでそれ以上は近づかずジューッと伏せたままでした。私もそれ以上歩かず両者を見守る。カルガモが何かに気づき荒川の方へ飛んで行った。その間なんと20分！こんなできごとがありました。 ツバメ、千寿桜堤中学校の空巣を再利用して抱卵中。 	Aブロック 北島 喜彦

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年5月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
19		<ul style="list-style-type: none"> ・6時頃雨が上がり出発。6:50'ポツポツ来る。すぐ止んでくれて有難かった。 ・中川には先月まで見えていた水鳥が1羽も見えず。秋まで待つことになるか?少し早めに終了、次回はもう少しゆっくり回って見る。 	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁目)
20	オナガ ハシブトガラス スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・オナガは飛び交う木の上で「クエークエー」と雛の音がするが高すぎて確認できなかった。 ・電柱のトランスの下の穴に、ハシブトガラスが、くちばしを突っ込んでいて、親スズメがさかんに威嚇していた。 	Dブロック 小巖 たづ子
20	ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・ふだんこの地域で見られないツバメ2羽が公園で見られました。 ・朝早くからカラスが、かん高い声で鳴いていました。ツバメが襲われないか心配です。 	Dブロック 矢野 毅
21		<ul style="list-style-type: none"> ・7種の確認でしたが、毛長川でオオヨシキリの元気な声を聞くことができました。1年ぶりのお客様ですが少なくなった感じがしています。 	Dブロック 坪内 英昭
21	ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・夏鳥のツバメ4羽を見ましたが、繁殖期のためでしょうか、全体的に少なく感じました。 	Dブロック 坪内 淑子
22	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・今朝は早朝から気温が高くこの時間でも少し遅かったか鳥の数があまり多くいなかった。河川敷しか観察できなかったが、オオヨシキリの声がかかなり多かった。 ・幼鳥を狙われたのかムクドリがカラスを群れで追いかけていました。 	Aブロック 糸川 宗尊
22	ムクドリ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・エサを啜って飛ぶムクドリを多く見かけました。 ・帰り道、家の近所でスズメの交尾を目撃してしまいました。 	Bブロック 鈴木 操
25	ワカケホンセイ インコ	<ul style="list-style-type: none"> ・高木の上の方にとまっているのを見かけた。一羽は幼鳥でエサをねだっている様子がかうかえた。 ・保木間二丁目元淵江公園、高木にツミの巣だという二つがあるのを教えられた。姿は見なかったが撮影した写真もあるという。生物園職員の話なので信憑性は高い。 	Dブロック 岩崎 孝和
27	オナガ ムクドリ キジバト	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖時期に入って鳥数も少なく思えました。もう巣立っているオナガや公園脇の民家にムクドリが営巣しており、雛の音が騒がしく聞こえていました。また同じく公園近くでキジバトが交尾をしており、これから繁殖に入る行動も見られました。 	Cブロック 中尾 文枝
29	シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> ・天気はよかったが観察できた種類は少なかった。 ・電線にシジュウカラの幼鳥が4羽止まって、可愛らしくさえずっていた。 	Bブロック 内田 保

モニター担当未配置地区

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
13	ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・調査区域外、弘道一丁目四のマンション入口に今年もツバメが営巣、ヒナがいる。五反野駅、駅近くの和菓子店には、まだ来ていない。 	Dブロック 山田 友治

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
カルガモ	東綾瀬公園	5・16	・雛が11羽孵るもその日に10羽になる。 ・現在7羽が親と行動している。	Eブロック 半澤 ヤイ
	見沼代親水公園(古千谷本町三丁目)	25	・親鳥とヒナ4羽が公園の堀を泳いでいることを確認。	Cブロック 鈴木 清文
キジバト	舎人五丁目(舎人氷川神社)	1	・氷川神社境内でキジバトが小枝を運んで桜の木に営巣している状況を確認。	Cブロック 鈴木 清文
	白旗塚史跡公園脇	26	・キジバト2羽が交尾をしていた。	Cブロック 中尾 文枝
コチドリ	舎人四丁目(毛長川)	5	・交尾を確認。	Cブロック 鈴木 清文
ツミ	見沼代親水公園・諏訪神社付近(舎人三丁目/二丁目隣接地)	5・11・21	・巣に親鳥が留まっている状況を確認。	
カワセミ	新田わくわく水辺広場 池	28	・幼鳥1羽 池の木の杭に並んで親子2羽止まりました。	Bブロック 森 美智子
オナガ	舎人三丁目(諏訪神社付近)	11	・しらかしの木に営巣して頻繁に出入りしている。	Cブロック 鈴木 清文
	楠木(花畑五丁目)	20	・ヒナの声。	Dブロック 小巖 たづ子
ハシボソガラス	鹿浜橋右岸の柳の木	2	・巣の中に鳥がずっといる。	Aブロック 直木 大助
	新田二丁目隅田川近く	6	・親どりが、食べ物を与えている様子を確認しました。	Bブロック 森 美智子
ハシブトガラス	都千住ポンプ所付近	4	・営巣および威嚇行動。	Aブロック 馬場 猛夫
ツバメ	六木三丁目	4	・2ヶ所にフンが落ちていた。	Eブロック 嵯峨 信子
	大谷田三丁目	5	・ガレージ、天井と電燈の間に営巣、抱卵。	Eブロック 谷田貝 知子
	舎人四丁目10番地(昨年営巣を確認)	11・21	・駐車場内の巣に留まっているツバメを確認。	Cブロック 鈴木 清文
			・4羽の雛を観察。	
舎人三丁目4番地(住宅駐車場内)	15	・駐車場内の巣に留まっているツバメを確認。		

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年5月(繁殖行動確認)

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
ツバメ	民家一階のき下	15	・巣の中に鳥がずっといる。	Aブロック 直木 大助
	新田わくわく水辺 広場 アシ原	28	・11羽 餌を待ち、口を大きく開き羽を いっぱいに広げていました。	Bブロック 森 美智子
	六月三丁目	29	・1ヶ所は巣立った様子(近所の話)。 ・1ヶ所(友人宅)は、出入りしている らしいが居ついていない様子。	Eブロック 嵯峨 信子
ムクドリ	舎人五丁目(舎人氷 川神社)	1・21	・氷川神社境内でムクドリが巣材をケヤ キの木の穴に運んでいる状況を確認。 ・何度も巣に餌を運び、巣から出るときは 糞を持ち出していることを確認。	Cブロック 鈴木 清文
	東和二丁目、民家戸 袋	5	・戸袋内に入った。毎年雛が孵る。	Eブロック (東和全域と谷 中公園) 大和田 司
	大谷田二丁目		・屋根と雨樋の間に2羽で巣材を運び込んで いた。	Eブロック 谷田貝 知子
	荒川河川敷	12・15	・餌をくわえて住宅地に飛んでいった。	Aブロック 綱藤 敏郎
			・餌をくわえて河川敷から民家の方向へ 飛ぶ6羽。	Aブロック 井灘 志げ子
	宮城一丁目 民家の 戸袋	15	・餌をくわえ親鳥2羽が出入りする。	
	家屋2階空気穴	22	・親ドリがエサを運んでいる。	Aブロック 直木 大助
	舎人三丁目4番地	25	・5羽の雛に親鳥が餌を運んでいることを 観察。	Cブロック 鈴木 清文
保木間三丁目 淵江第一小学校	・民家の雨戸、戸袋に親鳥がエサを運び ヒナの声きかれた。		Dブロック 岩崎 孝和	
	・民家の庭木にかけられた古い巣箱に親 鳥がもどるとヒナがエサをねだるのを 目撃。		Dブロック 岩崎 孝和	
スズメ	信号柱上配線ボック ス内	5・30	・成鳥、幼鳥の出入り。	Eブロック 宮田 美徳
	舎人四丁目7番地(会 社の出入り口の屋 根)	11	・会社の玄関屋根に営巣している。	Cブロック 鈴木 清文
	住宅のあちこちで	12	・1羽で行動しているスズメが多い。	Aブロック 綱藤 敏郎

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
スズメ	空家の二階軒下	13	・2羽が忙しくエサを運んでいる。	Dブロック 山田 友治
	梅田五丁目住宅街	14	・電柱の箱に出入り。	Bブロック 山崎 祐子
	西新井栄町住宅街			
	江南公園	15	・交尾3。	Aブロック 井灘 志げ子
	花畑三丁目 電柱のトランス	20	・ヒナの声。	Dブロック 小巖 たづ子
	宮城一丁目 電柱	22	・ヒナの声。親2羽が餌を運ぶ。	Aブロック 井灘 志げ子
	舎人四丁目7番地(会 社の入り口の屋根)	25	・近くの路上に嘴の黄色い雛を観察。	Cブロック 鈴木 清文
	保木間三丁目 元瀧江公園		・管理棟の軒下親鳥が入るとヒナの声 聞かれた。	Dブロック 岩崎 孝和
新田わくわく水辺 広場	28	・8羽、毛がふわふわで立ったままの雛 もいました。	Bブロック 森 美智子	

モニター担当未配置地区

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
ツバメ	花畑一丁目1番	25	・交差点にあるエネオスガソリンスタンド 伊弘石油(株)高い屋根の電球(透明なカ バー)の部分にツバメ営巣。ヒナにエサを 与えている様子。	Dブロック 岩崎 孝和
	西竹の塚二丁目4番 ふくや駐車場		・ツバメ営巣。ヒナにエサを与えている 様子。	

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
平成30年6月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
9	スズメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none">・4月と同様、繁殖期の状況調査というテーマでいつもと同じように回ってみました。・スズメでは、まるでミソサザイのように尾羽を高く上げてホッピングしている個体が出て、後をもう1羽が追っていました。今季何回目かの繁殖を始めるようです。・ムクドリの群の中には巣立ちビナが4羽混じっていました。	Aブロック 馬場 猛夫

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
平成30年6月(繁殖行動確認)

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
カルガモ	見沼代親水公園(古千谷本町三丁目)	15	・親鳥とヒナ4羽が公園の堀を泳いでいることを確認。	Cブロック 鈴木 清文
ツミ	見沼代親水公園・諏訪神社付近(舎人三丁目/二丁目隣接地)	8	・2羽のヒナを確認。	
ツバメ	神明南一丁目 個人宅駐車場	13	・巣ごもり。	Eブロック 宮田 美德
ムクドリ	家屋2階戸袋	2	・親ドリがエサを運んでいる。	Aブロック 直木 大助
スズメ	千住関屋町	9	・ディスプレイ行動。	Aブロック 馬場 猛夫

《モニター担当未配置地区》

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
ツミ	西中第二公園・高道東公園 (西新井四丁目)	14・21	・親鳥が餌をヒナに与える様子を確認。 ・5羽のヒナが順調に育っていることを確認。	Cブロック 鈴木 清文

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年7月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1		<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨明けのよく晴れた河川敷は野球場がすべて埋まり、ジョギング、自転車などスポーツにいそしむ人が多く出ていた。 ・川面では、水上スキーのボートが波を蹴立てていた。しかし野鳥の姿は少なく、ドバトの群れが目立つ程度。 	Bブロック 添田 善雄
1	オナガ キジバト シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> ・6月下旬、6日間連続の真夏日が続く中での観察でした。今日はカラスが少なく、カラス科のオナガが目立って飛んでいました。 ・また、キジバトが家の壁の上で、交尾をしているところを発見しました。 ・シジュウカラも公園で見ることができ、早朝の観察ならではの野鳥たちの動きが楽しめました。 	Eブロック 藤並 剛
2	スズメ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・既に6月に梅雨明け。台風7号が沖縄に接近し、気温30度越えが予想される。自転車をこぎ観察場所に向かう途中、鳥の声はあまり聞こえない。 ・早々、双眼鏡などの観察機材を準備し、観察を開始する。鳥と出会う前に神明南公園でラジオ体操している方々と挨拶を交わす。 ・午前7時、雪見公園西側、工場軒下の金属梁空洞をスズメが出入りする。 ・午前7時20分、観察場所(E地域)前担当者から教示を受けた燕の巣を覗いてみると神明南1丁目の店舗軒下(事前に伝えて観察)に2つあるツバメの巣のうち一つにツバメ1羽を確認。同丁目個人宅駐車場にツバメの巣があるがツバメは確認出来なかった。尚、近くの電線にツバメ5羽、幼鳥4羽を確認した。 ・午前7時45分、北加平町13番上空にツバメ1羽。 ・午前8時15分、神明南2丁目4番上空にツバメ1羽を確認した。 	Eブロック 宮田 美徳
3	ハシブトガラス イワツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・今年(7/3, 15種)は昨年(7/2, 20種)に比べ、鳥の種類が少なく、また鳥の数も少なかった。 ・ハシブトガラスが小鳥にエサを与えている姿がほほえましかった。 ・イワツバメが地上のミミズをくわえて飛んでいった。 	Aブロック 直木 大助
6	セッカ	<ul style="list-style-type: none"> ・千住新橋荒川左岸でセッカsong 	Aブロック 長谷川 澄雄
7	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・雨後、涼しい中出発。アジサイはそろそろ終わりに近いが、朝顔やアガパンサスが涼し気に咲き始めている。ヒヨドリの囀りを何か所かで聞いた。ペアも見かけた。1組は、庭先のブドウの実を、もう1組はランタナの熟果を食べていた。 ・6時55分、蒲原神社で2匹、ミンミンゼミの初鳴きを聞いた。ニイニイゼミは少し前から鳴き始めているが、2週間位早い気がする。 ・7時過ぎ、薄い雲を透して日光が肌に当たり、蒸し暑かった。 	Eブロック 大和田 司 (東和全域と谷中公園)
8	カルガモ コサギ ダイサギ アオサギ ゴイサギ ハクセキレイ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> ・見沼代親水公園の堀に3組のカルガモ親子が順調に育っています。 ・毛長川でコサギ、ダイサギ、アオサギ、ゴイサギ(幼鳥)を観察しました。 ・毛長川の浅瀬でハクセキレイの水浴びを観察しました。 ・オナガは見沼代親水公園、舎人緑道公園、舎人氷川神社で多く観察しました。 	Cブロック 鈴木 清文

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
10		<ul style="list-style-type: none"> ・エリアは、グラウンドで土日は人が多いので平日に来たが、鳥の数が少ない。 	Aブロック 塚野 守
11	オナガ ツミ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・オナガの巣立雛ギィギィ鳴き、親が来ると鳴きやむ。 ・ムクドリ、カラスは幼鳥が目立つ。 ・ツミのメスは羽を広げ陽ざしから守ってる。オスは側の木の上で時折鳴いて確認してるようでした。 	Eブロック 半澤 ヤイ
14	ハシブトガラス キジバト オナガ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に報告したハシブトガラスとは多分異なるつがいが高架裏の数十メートル離れた場所に新しい巣を営んでいた。 ・片方のカラスは翼に白化した羽根があり、この点で以前のつがいとは別と判断した。まだ威嚇はないが明確に警戒している様子がわかった。 ・キジバト、オナガとも小枝を拾って運んでいるのを観察した。7月の中旬になっても新しい巣を作っているとは驚いた。本当に繁殖までたどりつけるのかは分からない。 ・ムクドリ、オナガの群には明らかに今年巣立ちした幼い個体(色や甘えの行動などから)が含まれていた。 	Aブロック 馬場 猛夫
14	オオヨシキリ ハシブトガラス ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のためか、種類・個体数とも少ない。 ・オオヨシキリ2羽が10m位離れた距離で、お互いのなわばりを主張するかのようには鳴き合っていた。 ・ハシブトガラス2羽、ハシボソガラス1羽が、ハトに与えられたパンを食べていた。 	Bブロック 渡辺 浩
14	オナガ カワセミ スズメ ハシボソガラス ハヤブサ	<ul style="list-style-type: none"> ・今朝は気温が早くも30 近くに上り、汗がにじみ出る調査になりました。 ・ハシボソガラスが多く観られ、木陰の中で口を大きく開けて涼を取っているのでしょうか。この暑さでスズメもあまり見られずセミの鳴声だけが大きく聞こえます。 ・野球場の芝が変に一部盛上っているのを見ました。よく見ると、大型の鳥が羽根を広げて何かをおさえているようです。顔を時々上げてまわりを見わたします。 ・近くでオナガがギャーギャー鳴いています。もう少し観察をすると顔はオオタカかハヤブサのようです。私は大きさからハヤブサと観ました。 ・その後大池周辺の調査に入りました。東側のサクから身をのり出して手前のヨシを見回していると目の前をカワセミが通過しました。アレッと思った瞬間目の前5、6メートル近くのヨシに止りました。双眼鏡を使わなくても、カワセミ独特の美しい羽根、仕草をじっくりと観ることが出来た調査日でした。 	Cブロック 羽賀 清行
14	スズメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメ、ムクドリ、カラス等、営巣していた野鳥もヒナ鳥達は巣立ったようです。芝生や電線にいる鳥たちも若鳥が目だっていました。 ・早朝から賑やかに鳴くニイニイゼミの声にミンミンゼミの声が混じるようになりました。 	Eブロック 谷田貝 知子
15		<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑の為か、野鳥大変少ない。 	Bブロック 清水 正嗣

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年7月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
16		<ul style="list-style-type: none"> ・ 去年も暑かったが今年もやはり暑かった。鳥は体温が高いのでまだ我慢できると思いますが、40 になったらどうなるのでしょうか？ ・ 荒川は満潮で見るべきものはなかったです。河川敷を歩くとベンケイガニやらクロベンケイガニやらがわらわらしていました。またアレチハナガサの花が増えましたね。 	Aブロック 綱藤 敏郎
16	ハシブトガラス ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猛暑のせい、全般的に鳥の数が少なかった。 ・ ハシブトガラスとヒヨドリの鳴き声が響き渡っていた。 	Bブロック 内田 保
16		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6種類の確認でした。野鳥たちも暑さを避けて、涼しい所に移動しているのでしょうか。 	Dブロック 坪内 淑子
16		<ul style="list-style-type: none"> ・ 猛暑の中の調査、予想どおり野鳥種数の少ない調査でした。野鳥も猛暑を避けているように思います。 	Dブロック 坪内 英昭
17	ハクセキレイ ツバメ ヒバリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辛うじて河川敷でハクセキレイ、ツバメ、ヒバリに会えた。 	Aブロック 北島 喜彦
17	ツバメ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連日の猛暑で鳥の数も極めて少なく、普段河川敷に群れている、スズメ・ムクドリ等もまったく観られませんでした。しかし河川敷のグランドには、多数のツバメが地表を低く飛び交い少し安心しました。 ・ 住宅街にも行ってみましたが、スズメが少しいる程度でした。少し涼しくなることを願っています。 	Aブロック 糸川 宗尊
17	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年に無い猛暑が続く連休明けの野鳥モニターとなりましたが荒川沿いの木陰は思ったより涼しく何とか熱中症は避けられた感じです。さすがにこの季節種類も数も今一つでしたが扇大橋下流のゴルフ場の隣の木立からムクドリの群れが一斉に飛び立ち扇大橋を超えて上流に向けて散ってゆきました。 	Bブロック 清水 猛
19	スズメ ウミネコ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝のうちは曇り空、そよ風は心地よく感じました。スズメは今回一番多くいました。小さくて可愛らしいスズメ達も目立ちました。 ・ 白っぽい鳥ウミネコと思われるのですが、高速道路の街灯に止まろうとした時一瞬ですが、羽が傷んでいるように見えました。気温と関係あるのでしょうか。口を大きく開いていました。少し休んで飛び立ちました。 	Bブロック 森 美智子
21	ムクドリ ダイサギ ヒヨドリ スズメ キジバト	<ul style="list-style-type: none"> ・ しばらく猛暑が続いています。快晴でした。影響を考え花火大会の前に実施しました。ムクドリはほとんど観察できず、帰りに西新井橋南詰付近の森に多くの固体を確認しました。暑さを避けているのでしょうか。隅田川対岸にいつもいるダイサギも復路荒川の右岸で複数確認しました。カワラヒワもおらず、ヒヨドリも少なく感じました。一方スズメが多く、キジバトも元気そうでした。 	Aブロック 中村 博一

平成30年7月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
21	ムクドリ	・ムクドリが草むらがある場所に多くいた、セミの幼虫が出てくるところを狙っているよう。	Eブロック 上田 智子
21		・例年通り、暑い日であり、種類、数ともに少なく、カラスも繁殖時期が過ぎたのか少なかった。	Dブロック 矢野 毅
21	ハシブトガラス ムクドリ	・中川公園の蝉時雨を聞きながらスタート。すでに暑い。大谷田1丁目団地の西側の櫛の林に、ハシブトガラスが群れて飛び回っていた。 蝉を探していたのか蝉の声が他の所より少ない。木の多い所は、蝉の声で鳥の鳴き声が聞こえず鳥の姿を見つけ難かった。 ・ムクドリの群れが見当たらなかったが、早朝から、隣の中川公園に集団移動してしまっていたようだ。かなり念入りに探したが、種類も数も、普段の半分位しか見えなかった。	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁目)
22	ツバメ	・朝から暑い! 鳥の姿もあまり見えないがツバメだけは、元気に飛びまわっている。幼鳥が電線に並んで止まって親ツバメが通るたびに羽根をふるわせてエサをねだっている。	Eブロック 安藤 京子
22	イワツバメ カワウ オナガ	・雲一つない快晴。今日の最高気温の予想34 とのテレビ放送が流れている。そんなせいか毎年元気なセミの鳴声もそこはかとなく静かです。そんな中ベルmont公園の池でトンボを追うイワツバメもよそ目につばさをひろげて日光浴をしている「カワウ」発見です。よちよちと私の方へ近づいてくれます。しっかり観察致しました。 ・又稲荷神社では元気な鳴声のオナガにも会えました。	Dブロック 久保田 靖子
22		・暑さのせいか第一・第二ポイント共、セミばかりで鳥は皆無だった。 ・カラスも数が少なく、心なしか口を空けて苦しそうに見えた。	Dブロック 小巖 たづ子
24	ハクセキレイ ツバメ	・曇り、北東風2、昨日23日は熊谷で41.1 を記録した日だが、早起きして、モニター実施することにした。曇りで、北東風で少し涼しい感じがしたくらい。7月は梅雨明け前か、早朝に限る。 ・河川敷でハクセキレイがツバメに追いかけるのを目撃した。 ・本日ドバトは176以上	Aブロック 長谷川 澄雄
25	ムクドリ	・今夏は異常に暑く、雨が降らない日々。今朝は、曇天、意を決して出発しました。 ・いつになく、ムクドリの大群がいた。 ・拘置所脇水路、川底が見えてスッポンが首をのばしていた。	Dブロック 山田 友治
26	カワラヒワ スズメ	・7月上旬まで「ビ～ンビ～ン」と公園や電線の高い所でさえずっといたカワラヒワは静かになり、早朝の公園には子スズメが数羽いた。	Aブロック 井灘 志げ子

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
平成30年7月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
27		・暑いと鳥が減ると聞いていたので、涼しくなったタイミングを狙って観察した。しかし全体に鳥の鳴き声も少なく、あまり見つけることができなかった。前回たくさんいた諏訪神社付近も粘ってもまったく現れず。なにか飛んだと思っても大抵はセミだった。	Cブロック 白井 望
27	スズメ ムクドリ シジュウカラ	・7月27日、今年の酷暑で涼しい所に避難したか鳥数は少ない。スズメ、ムクドリも幼鳥が目立つ。シジュウカラも幼鳥だったので近くで繁殖したと思うのだが確認出来ない。ツバメの巣も2ヶ所あるが、今回は空き家だった。	Eブロック 嵯峨 信子
29	ムクドリ オナガ	・鳥の姿もまばらでしたが、寺院の空き地には若いムクドリたちが集結していました。まだまだ若いオナガが大きな声を出していたが、まだ警戒心が薄いらしく、案外近くで観察できました。またいつもの神社は人の出入りが多く、鳥たちの姿を見ることができませんでした。	Cブロック 中尾 文枝
29		・台風が過ぎた後、強い日差しが照りつけるが時折にわか雨もある変りやすい天気の日を観察だった。不順で暑いお天気のせいかわりやすい天気の日を観察だった。不順で暑いお天気のせいかわりやすい天気の日を観察だった。不順で暑いお天気のせいかわりやすい天気の日を観察だった。 ・ドバトは最近純白のものはみかけるのは少ないが珍しく1羽見つけた。	Dブロック 岩崎 孝和
30	スズメ ムクドリ	・スズメの群れが住宅街で多く見られました。雛が巣立ったのかもしれない。 ・鳥の声よりセミの声がよく聞こえました。セミを食べるスズメやムクドリを見かけました。	Bブロック 山崎 祐子
31	キジバト オナガ	・早朝からセミの鳴き声とキジバトやオナガの声がにぎやかだった。朝5時でもすでに暑かった。	Dブロック 小丸 望美

調査区域外情報

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
6	セッカ	・千住新橋荒川左岸でセッカsong。	Aブロック 長谷川 澄雄

モニター担当未配置地区

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
30	ツバメ ヒヨドリ	・調査区域外(梅田四丁目)ですが、ツバメ1、ヒヨドリ1を確認しました。	Bブロック 山崎 祐子

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
平成30年7月(繁殖行動確認)

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
カルガモ	見沼代親水公園(古千谷本町三丁目)	4	・親鳥とヒナ5羽が公園の堀を泳いでいることを確認。	Cブロック 鈴木 清文
	東綾瀬公園の池	11	・4羽かえり2羽カラスに食べられ、2羽の雛を連れ泳いでいた。	Eブロック 半澤 ヤイ
キジバト	中居町公園	14	・巣材と思われる小枝を運んでいた。	Aブロック 馬場 猛夫
ツミ	東綾瀬公園グランド入口の方	11・14	・雛1羽確認。	Eブロック 半澤 ヤイ
			・雛4羽確認出来た。	
ツバメ	神明南一丁目店舗軒下	2	・巣ごもり。	Eブロック 宮田 美徳
	西新井駅西口	13	・天井照明の上に巣があり、3羽巣立つ。	Bブロック 渡辺 浩
オナガ	関屋公園	14	・巣材と思われる小枝を運んでいた。	Aブロック 馬場 猛夫
ハシボソガラス	保木間二丁目民家脇	29	・幼鳥にエサを与えていた。	Dブロック 岩崎 孝和
ハシブトガラス	都千住ポンプ所付近	14	・営巣及び威嚇行動。	Aブロック 馬場 猛夫
スズメ	西新井駅西口	4	・雛3羽巣の中にいました。	Bブロック 森 美智子
	ベルmont公園	22	・幼鳥が木陰の下の芝をついばんでいた。	Dブロック 久保田 靖子
	梅田五丁目住宅街	31	・親1羽が、巣立った幼鳥2羽に食べ物(イモムシ?)を与えていた。	Bブロック 山崎 祐子
	西新井栄町住宅街		・電柱の機械から雛の声が聞こえる。	

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年9月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・少し涼しく感じる。公園に銀杏の実が幾つか落ちていた(50位?)。少し早いか?カネタタキの声、今年初めて聞いた。ツキヌキニドウの花が咲き始めていた。曇りだが、少し蒸し暑くなってきた。8時45分、日差し青空も少し見えたが、雨がポツポツ。すぐに止んでくれて助かった。北三谷公園でハシボソガラスがスタジイの実の殻を割って、中身を食べるのを見て、観察終了。 	Eブロック 大和田 司 (東和全域と 谷中公園)
5	カワセミ ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・明け方まで雨が降りまだ台風の風が残っていたので鳥達の姿は観察できないかなとあまり期待せずでかけましたが、いつもと違う条件だからいつもはあまり見かけない場所で鳥達を観察できました。桑袋ビオトープにカワセミが来ることは知っていましたが本日は綾瀬川でカワセミを観察でき嬉しかったです。またハシボソガラスが大きなザリガニをくわえて飛んでいくなど嵐の後の鳥達の姿が様々観察できました。 	Dブロック 小丸 望美
6	ムクドリ ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・例年とほぼ同じ13種がみられた(昨年14種、一昨年13種)。 ・ムクドリが草地で群(200羽、60羽、50羽)、上空ではツバメが群(20羽程)で飛んでいた。 	Aブロック 直木 大助
8		<ul style="list-style-type: none"> ・大谷田団地から始める。先日の台風の影響か、植込みの櫻の枯れ枝が地面に大分落ちていた。時々湿っぽい南風が強めに吹く。「明神の湯」の前のネムノキの花が満開だが、季節感が無い感じ。飯塚橋から環7へ出る通り、普段は二けたのスズメが居るのに、今日は一羽も見えず。車の数が普段よりかなり多いせいかも知れぬ。数も種類も少なめだった。 	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁目)
8	アオサギ	<ul style="list-style-type: none"> ・旧綾瀬川で珍しいものを見た。アオサギがダイビングするのを目撃した。普通、サギの仲間は足の届く範囲の水辺で狩りを行うが、このアオサギは干満の影響でかなりの流速で荒川から隅田川に向かって流れる旧綾瀬川に飛び込んだ。泳げるわけではないので、当然水面にだらしなく浮かんで2秒程度だったろうか流された後、水面から羽ばたいて再び元の岸辺に戻った。何事もなかったかのように再度水面を見つめるアオサギを見ていると、どうやらこの個体は普段から水深のある場所でダイビングして狩りをしているのではないかと、そんな疑問が湧いてきた。 	Aブロック 馬場 猛夫

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
8	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 風の強い朝、空はとてもきれいでしたが、小鳥たちは大変飛びにくそうでした。遠くの方から小鳥の音がしたような気はしましたが、高速道路の騒音と強風でどの辺りで鳴いているのか耳をすませてしばらく立ち止まりながら声のする方向に歩いていた時草原の中にいることが解りました。高く伸びた草原の中からスズメの親子(2羽)歩道に出てきましたが、再び草原に入って行きました。スズメ親子に会えて嬉しく思いました。 	Bブロック 森 美智子
9	イソヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 鮮やかな赤紫色のクズの花がつるから下がり、房も大きく美しい。近づくと香りもよい。万葉の歌人は秋の七草のひとつに取り上げ鑑賞したという。その隣接したコンクリートの壁の上にもイソヒヨドリ雌が1羽、一方高速の下面コンクリートにも雌1羽。互いに短く美しいさえずりを繰り返しながら、時々お互いの位置を交換していた。体は同じ大きさで腹に赤褐色味はない。雄のさえずりもよいが、雌の短いさえずりも美しい。 	Aブロック 井灘 志げ子
9	ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 晴れ。風はあったが、まだ残暑が続いている。ユリカモメが単体でいたのが珍しかった。ドバトもいつもの大きな集団はみられなかった。輪を描いて雲間に上り消えていった猛禽類らしき鳥(羽を長方形に広げ、尾は三角)がいたが、種類は特定できなかった。 	Bブロック 添田 善雄
9	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 蒸し暑い朝であり、秋の気配が少ない時でもありました。しかし、エンマコオロギやカナタタキなど秋の泣く虫が盛んに鳴いていました。旧家の庭には青い柿がなっていました。今日はスズメが多い。カラスは少なかったです。 	Eブロック 藤並 剛
9	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 暑い、暑い夏を越えて9月。調査区域に向かう途中、鳥の鳴き声は少ない。 午前6時30分、調査開始。神明コミュニティー広場に鳥の格好の餌になるヒマワリが咲いている。しかし、鳥の姿なし。 午前6時40分、神明南公園西側耕地に柿が多数実っているが鳥の姿なし。 午前7時00分、雪見公園。南方向で打ち上げ花火の音(運動会を知らせるような音)がするが、この音に反応してハト2羽が飛び立つ。 午前7時10分、花畑川は満潮。水鳥の姿なし。近くの交番の方と挨拶を交す。 午前7時30分、神明南ふれあい公園。芝の上にムクドリ30羽が啄ばんでいる。この群れの西側、10メートルの場所でライオンが獲物を狙う格好でネコが伏せている。ムクドリが飛び立つと、猫は住宅街に入ってしまった。 	Eブロック 宮田 美徳

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年9月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
13	ハヤブサ	<ul style="list-style-type: none"> 曇り北西2。 東武鉄道の鉄橋のドバト40～50羽くらいが一斉に飛び立ったので、上空を見渡したらハヤブサが飛んできていた。すぐに来たの方に帰っていった。 葎があちこち、銀杏、椎の実、ジュズダマ、ムラサキシキブ、クルミなど実がなっていて、秋だなという感じがした。 ドバト79羽以上 	Aブロック 長谷川 澄雄
13		<ul style="list-style-type: none"> 河川敷にオオヨシキリ確認出来ず。 	Bブロック 清水 正嗣
15	スズメ キジバト ツバメ カワセミ オオジュリン ツミ コサメビタキ	<ul style="list-style-type: none"> 今にも雨が降りそうな空です。ゴム長靴をはき、折りたたみ傘を持って出発です。カラス、スズメ、キジバト、ツバメとさい先の良い出発でしたが、案の定雨が落ちて来ました。すると鳥達との出会いも少なくなり、途中で調査を中止しようと思いましたが、ともかくいつものコースを一周してから帰ることにしようと、大池周辺に行くとカワセミ、オオジュリン、ツミ、コサメビタキなど普段なかなか出会えない鳥たちに会い報告することに。 ともかく雨降りは公園内も静かですが、鳥達も雨宿りをしているのでしょうか。姿を見せてくれません。今日はいつもより少ない個体数で、報告です。 	Cブロック 羽賀 清行
16	ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> 夏のためか、種類・個体数とも少ない。 パークゴルフ場の前で、ハシボソガラスの幼鳥2羽が、人の嘔吐物をついばんでいた。 	Bブロック 渡辺 浩
16	オナガ シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> オナガの幼鳥は、かなり大きくなっているが、まだ短めな尾と脇羽の下にフワフワした羽毛が残っていた。他にシジュウカラも鳴き声から幼鳥かなと思ったが判別はできなかった。 	Dブロック 小巖 たづ子
17		<ul style="list-style-type: none"> 5種類の確認で、個体数も少ない調査でした。 	Dブロック 坪内 淑子
17	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> 9月とはいえ、まだまだ暑く、鳥は少ない。 公園の草刈した広場で、採餌中のムクドリの群れを確認した。 	Dブロック 坪内 英昭
17	ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ムクドリの群れが公園で多く見られた。ほかは、全体に数種類共に少ない様に見られました。 	Dブロック 矢野 毅
17	スズメ モズ	<ul style="list-style-type: none"> 土手の草原でも空地の草原でもスズメが群れていました。 モズはここでは今シーズン初見です。 新しくコンクリートの町には鳥の姿はありませんでした。 	Eブロック 安藤 京子

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
18	カワウ	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷のグラウンドが使用されている連休を避けての野鳥モニターとなりましたが、種類も数も今一つでした。常連のカワウが数羽で、いつもは河川敷で群れをなしているスズメやムクドリもほとんど確認されませんでした。どこか他の場所に良い餌場があったのでしょうか？ 	Bブロック 清水 猛
19	スズメ シジュウカラ カワセミ ダイサギ コサギ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 気温の高い日が続いていましたが、17日以降気温が下がって来たので、多くの野鳥観察を期待して調査を開始しましたが、残念ながら観察出来た種類は14種類でした。 境川部屋周辺の毛長川兩岸にあった葦が刈り取られスズメやシジュウカラの数が少ない状況でした。 毛長川の砂子橋より上流でカワセミ、ダイサギ、コサギを観察できました。 オナガは見沼代親水公園や舎人緑道公園周辺で多く観察出来ました。 	Cブロック 鈴木 清文
19	スズメ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりの涼しい朝でした。スズメの数が少なく、拘置所脇の水路ぞいの桜の木、落葉時期には、まだ早いのに葉が残り少ない何か変な感じ。8月はどこへ行ってもオナガの姿が、多く見られた。何だったのか？ 	Dブロック 山田 友治
19		<ul style="list-style-type: none"> 昨夜の土砂降り朝の公園は小枝、落葉が散らばり彼岸花が並んで咲いているだけで静かだった。カルガモはどこに避難したのか1羽も居なかった。他の野鳥も少なかった。 4羽の雛が巣立ったツミの巣は跡形も無かった。 	Eブロック 半澤 ヤイ
22	ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> 2日前の夕方から雨が降り始め、昨日は夜までずっと雨でした。曇りの中歩きましたが、静かなフィールドでした。ハシブトガラスが10羽ほど騒いでいたのですが、お彼岸の供物を巡る騒動かもしれません。 	Aブロック 綱藤 敏郎
23	ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> 種類・数とも少なかったが、ハシブトガラスが多数、マンションの屋上付近で群れて、うるさく鳴いていた。 	Bブロック 内田 保

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年9月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
23		・なぜか気味が悪いほど鳥がいない日だった。最後の30分くらいでようやくチラホラといった感じでさびしかった。	Cブロック 白井 望
23	スズメ キジバト	・きびしい気象状況の日が続き、又マンションの乱立等で街並みの変化の影響が関係しているのでしょうか鳥が少ない。スズメは元気でしたが、いつも観られるムクドリには会えませんでした。広いベルモント公園の藤棚で鳴くスズメ芝生上のでキジバト2羽さびしい朝でした。	Dブロック 久保田 靖子
23	ゴイサギ	・今日は爽やかな晴天です。圀川沿いに30分歩いて何もいなくて今までのワースト記録です。11種29個体でした。六木3丁目のHさん宅のゴイサギの塹は、この秋も健在で、成鳥1羽が道路からも見えました。まだ他にもいるのかもしれませんが早朝だし犬が吠えるので確認出来ませんでした。	Eブロック 嵯峨 信子
23	ツミ ハシボソガラス	・大谷田公園の雑木林の中で、樹々の間を2羽のツミと3羽のハシボソガラスが追いかけてたり追いかけられたりしていました。両方とも若い個体のようなでした。昨年の5月のモニター調査でもツミを観察しています。大谷田公園生まれのツミでしょうか？確認は取れていませんが。	Eブロック 谷田貝 知子
24	ツバメ モズ	・急に気温が低くなり、鳥もとまどったのか数少なくなってしまいました。この時期になってツバメが川面をかすめているのが見られました。河川敷に出てみればコオロギの声が多くそれでもモズが1羽テリトリーを主張しているのが印象的でした。	Aブロック 桑川 宗尊
28	シジュウカラ	・久しぶりの晴れ間、柳原の桜並木と千草園にかろうじてシジュウカラ数羽餌をついばみながら鳴いていた。	Aブロック 北島 喜彦
28	チョウゲンボウ	・エリアで初めてチョウゲンボウを見ました。	Aブロック 塚野 守

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
28	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・雨で予定が延び28日に実施しました。ようやく晴れました。千住桜木町の隅田川沿いですが、荒川区側の対岸にコガモが群れ(7個体前後)で来ていましてカメラで確認しましたが、同じぐらいの大きさで遠くて確認できなかった6個体をカモsp.としました。数日來の雨で千住小学校仮校舎隣の草原も水たまりができており、付近ではスズメが沢山見られました。千住桜木町公園でパンくずらしいものが入ったビニール袋をもつ男性を見かけました。隅田川沿いでも餌付けをしている情報が過去にありましたのでこの方かもしれません。なお、コガモを確認した荒川区側(尾竹橋公園付近)に、ダイサギを確認しました(いつも通り)。 	Aブロック 中村 博一
28	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・数日雨が続いた後の晴れの日でした。 ・住宅街にはほとんど鳥がおらず、公園にわずかと、梅田8丁目の都営住宅後の草地の周辺にスズメとドバトがたくさん集まっていました。 	Bブロック 山崎 祐子
29	/	<ul style="list-style-type: none"> ・調査したこの日は明日以降の台風襲来の予報がされていて時偶雨粒のあたる曇天で調査に適した日とは言えなかったが、月末になってしまい他に調査日がとれなかったため実施した。鳥たちは悪天候を察知してかビックリする程少なかった。 	Dブロック 岩崎 孝和
30	オナガ ワカケホンセイ インコ	<ul style="list-style-type: none"> ・寺院周辺にオナガの若鳥たちが集まっていました。そこへワカケホンセイインコが交わり、まさに鳴き声合戦のようで、とても面白かったです。 	Cブロック 中尾 文枝

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年11月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
2	/	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメと同じ程度の大きさで、全身がオレンジっぽい茶色で模様がはっきりしない鳥が野球のネットに止まっていました。ヒタキSPとします。 	Aブロック 塚野 守
3	ムクドリ ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・11/3 21種観察。昨年(22種)とほぼ同数が認められた。 ・AM6時前、ムクドリ雲の様な大群が、自宅の近くの鉄塔2本に飛来、集結。鳴き声がけたたましい。その後、小群を作り、方々に散っていった。数は多すぎて数えられない。調査時間に公園等に、20-40羽の群れがいるものの、あのムクドリはどこに行ったのだろう。 ・ジョウビタキ初認。他日、ウグイス(11/4)、アオジ(11/10)初認。 	Aブロック 直木 大介
3	/	<ul style="list-style-type: none"> ・よく晴れた秋の空。西新井橋から千住新橋間の荒川左岸はスポーツ空間として整備され、川面はレジャーボートが、河川敷は野球場でにぎわっていて、「小鳥来る」季節のわりには、種類も個体数もあまり観察できなかった。 	Bブロック 添田 善雄
3	/	<ul style="list-style-type: none"> ・弱い北風の中出発。少し寒い。鳥の動きが皆早い気がした。餌が豊富で元気が良いのか。この数日で、紅葉が大分目立つようになってきた。日陰に入ると寒くて、手がごごえ、記入しづらかった。鳥の数が多くて、数えるのに時間が掛かってしまった。 	Eブロック 大和田 司 (東和全域と 谷中公園)
4	イソヒヨドリ ジョウビタキ シジュウカラ メジロ スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・京成関屋駅の東端あたりの土手下である。このエリアで初めてイソヒヨドリを見た。出会ったとき逆光気味だったので、始めはサイズからムクドリかヒヨドリと思ったがどうもおかしいと感じ位置を変えて写真を撮った。拡大してみるとメスのイソヒヨドリだった。驚いて再び双眼鏡で実物を見た。近くにちいさな動くものがいて確認するとジョウビタキのメスだった。これもこのあたりではめったに出会わない鳥である。 ・千住仲町の比較的新しい建物の玄関に植えられた細い樹木(名前は不明)にシジュウカラ、メジロ、スズメが順にとまって餌を探していた。こんな小さな樹木でも街の鳥たちにとってはかなり貴重な存在であることがわかる。 	Aブロック 馬場 猛夫
4	/	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥の種類、個体数とも少ない。 	Bブロック 渡辺 浩

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
4	ムクドリ スズメ オオバン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早朝、空に星はなくカラスの声を聞きながら調査区域に向かう。午前6時05分、調査開始。神明コミュニティー広場に鳥の姿はない。西方向の電線に鳥が群れているのが見える。早速、コース変更して近づくとムクドリが30羽飛び立つ。更に近寄るとムクドリ20羽が飛び立つ。電線にムクドリが100羽を確認。間もなく飛び立つ。住所は神明南二丁目2番。同電線下の路上には鳩の糞の3分の1の大きさの糞が20程度ある。確認羽数に比べて少ない。長時間滞在ではないと思われる。午前6時30分、小雨が降りだす。 ・ 午前6時40分、スズメ2羽が足立区神明南材料置場北側の電柱に設置場所のボックス(「カ」と記しあり)の穴をのぞき込む。穴からは10センチメートル位のビニール紐が垂れ下がっている。営巣の確認はできず。午前6時35分、雨が止む。午前7時、交番の方に挨拶し、花畑川にオオバン1羽を確認した。 	Eブロック 宮田 美徳
10	ハクセキレイ タヒバリ ユリカモメ ホシハジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨日の雨もあがり、この時期としては暖かく感じる朝です。夏の高原のように薄い「もや」が出ています。草はらの葉には、水滴がいっぱい付いているのでゴム長靴の方が便利のようです。私の身支度は軽登山靴をはいての調査です。 ・ さて今朝は水滴が多く付いている草はらなので普段よく草はらにいるムクドリ、スズメ、キジバト、ハシボソガラス等々の姿がこの場所では見られませんでした。湿地や水辺が好きなハクセキレイが多く見られました。タヒバリも、舎人公園ではめずらしく見られました。 ・ 大池には冬鳥のユリカモメ、ホシハジロがこの冬初飛来し、ヒドリガモ、オナガガモ等々とこれから色々なカモ類が来てにぎやかになるでしょう。 	Cブロック 羽賀 清行
10	ジョウビタキ メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジョウビタキ、メジロの冬鳥が確認できました。元気なヒヨドリの声が印象に残りました。 	Dブロック 坪内 淑子
10	ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジョウビタキ の姿を久しぶりに確認できました。時期的には、種数、個体数とも少なく感じられました。 	Dブロック 坪内 英昭
10	ムクドリ スズメ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査前日は終日雨だったからか、今日は野鳥の動きが活発でした。ムクドリ、スズメ、ヒヨドリなどはペアで行動しているのが目立ちました。 	Eブロック 谷田貝 知子
11	ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月にしては暖かい朝です。荒川は満潮で干潟は出ていませんでした。草加では9日にツグミを見ているのですが、今朝は見られませんでした。今年はジョウビタキをよく見かけるように思います。自転車のブレーキ音がエゾビタキの轉りのように聞こえて一気に目が覚めました。 	Aブロック 綱藤 敏郎
11	ヒヨドリ メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天気が良く調査日和でした。 ・ 冬鳥が見られるようになり、ヒヨドリの鳴き声が響き渡り、メジロの群れもケヤキの上で、枝の間を飛び回っていました。 	Bブロック 内田 保

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
平成30年11月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
11	ヒヨドリ	・観察地域全域でとにかくヒヨドリが元気だった。鳴き声・木に止まっている・飛んでいる姿、全てヒヨドリの姿を見ていた気がする。冬鳥の鳴き声は聞いた気がするが姿は捉えられなかった。	Dブロック 小丸 望美
11	メジロ	・メジロをひさしぶりに観察出来た。カラスの数が、いつもより少なくなったと感じた。	Dブロック 矢野 毅
11	スズメ ホシハジロ	・スズメ等鳥の数が少なく感じました。 ・早々とホシハジロが見られ、びっくり！でした。	Eブロック 安藤 京子
14	カワセミ	・暑くも無く、寒くもない荒川沿いの散策気分のモニターとなりました。扇大橋の下で久しぶりにカワセミがエサを取っているところが観察されました。カワセミの止まっている木の下にドバトが2羽水飲みに近い時に小さいカワセミが邪魔だとばかりに大きなドバトを追い払ったところが素晴らしかったです。	Bブロック 清水 猛
14	コサギ	・コサギが、樹に止まっていて、黄葉と真白な身体と、あまり見ない光景。 ・コミュニティ公園に鳥の姿も声もない。	Dブロック 山田 友治
15		・快晴西2、筑波山、日光連山、群馬の山々、浅間山、関東連山、富士山、丹沢山などよく見える。 ・千住新橋では右岸も左岸もドバトのたまり場で、どちらもパンくずなど餌を定期的にやっているような気がする。今日は、学習センター側の陸橋下で多量にパンの耳がまかれ、ドバトが50羽くらい溜まっていた。「ハトに餌をやらない。」という立て看板を区内に掲示する必要があるのではないのでしょうか。 ・また、荒川の葦の茂っているところでは、ペットボトルや各種のごみが延々と続いている。「荒川はゴミの川」だと思う。 ・今日は良い天気、急に冷えたせいか鳥の影が薄い気がする。	Aブロック 長谷川 澄雄
15	モズ ヒヨドリ ハクセキレイ ムクドリ チョウゲンボウ イソシギ	・どこまでも広がる澄み切った青空とてもさわやかでした。 ・モズ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、ムクドリなど多く見かけました。 ・チョウゲンボウ、久しぶりにイソシギに出会うことができました。	Bブロック 森 美智子
16		・10/15より再生工事でメインの場所がすべてフェンスで囲まれ重機での作業が8:00から始まり鳥が居ない、観察が出来ない、今の冬はダメですね。 ・工事の終了は3/22の予定。ワンド広場がどのように変わるのか気がかりです。	Bブロック 鈴木 操
17		・小春日和の朝、出発が遅れましたが、まあまあの数に出会う事が出来ました。 ・河川敷のアシ原が刈り取られているため、アシ原には鳥影が少なくモズの声だけが目立って聞こえていました。	Aブロック 糸川 宗尊

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
17	シジュウカラ メジロ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 団地の林でシジュウカラを見ている時、メジロの声が聞こえたが、姿見えず数えなかった。後でメジロ5羽の群れを見たので多分木の中で鳴いていたのだと思う。現地まで行く途中、東和病院前の親水公園の池のカルガモが28羽に増えていた。ラジオ体操に来る人が餌を与えるので増えたのかも知れない。風弱く雲多めだが青空が見えていて終わる頃は、晴れて日差しが暖かかった。中川で、やっと水鳥に会えた。1月が楽しみだ。今回は色々な鳥が見えて、時間が足りなくなりそうだった。ピラカンサの実の赤さがあちこちで目立った。 	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁目)
18	ヒヨドリ ムクドリ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> ヒヨドリが元気に飛びかっています。又、ムクドリ7羽電柱にとりついている光景が面白い。 今年も幼鳥を連れのおナガの群鳴きながらひらりひらりと優雅な舞を見せてくれました。 	Dブロック 久保田 靖子
18	アオジ	<ul style="list-style-type: none"> 小春日和のせいか冬鳥もまだまだなのか～帰りがけ道路脇でジーとして逃げない鳥がいたので、手に乗せてみた。羽ばたきもせず、鳴きもしない。 一見、スズメかと思いきや、全体が黄色がかって「アオジ」のようだ！幼鳥でもなさそう。近くの公園の木の下に置いてきたが大丈夫だったか心配！！ 	Dブロック 小巖 たづ子
20		<ul style="list-style-type: none"> 今日の調査ではメジロに会えず、今年の秋は家の庭でも堀川遊歩道でも見かけていない。(サザンカは花盛りなのに)10/6、10/24家の近くの電線で高鳴き。11/24我が家の庭にジョウビタキ 	Eブロック 嵯峨 信子
21	カルガモ コガモ オオバン キセキレイ カイツブリ	<ul style="list-style-type: none"> カルガモは見沼代親水公園で18羽、毛長川で6羽観察しました。 コガモは境川部屋周辺の毛長川で多く観察しましたが、尾久橋通りの下流でも5羽確認して合計28羽を観察しました。 昨シーズン多く観察したオオバンは2羽のみの観察でした。 毛長川で初めてキセキレイ(新砂子橋近く)とカイツブリ(境川部屋の前)を観察しました。 	Cブロック 鈴木 清文
23	ヒヨドリ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> 秋の実りの季節、ヒヨドリが忙しくついばんでいました。 今回初めてカルガモに会えました。 	Cブロック 白井 望
23	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉がすすみ、イチョウの木やケヤキの木が黄色や茶色など美しくなってきた。その木々の間をヒヨドリがたくさん飛び回っていた。 	Eグループ 藤並 剛
24	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 渡って来たばかりなのかツグミ2羽千草園の樹にとまっていた。 荒川河川敷では認められなかった。 	Aブロック 北島 義彦
24	コサギ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> 散り残った紅葉の桜の木にコサギが止まり一幅の日本画のようで美しかった。 ウグイスは地鳴きしながらつつじの植え込みを渡り歩(?)いていた。 	Eグループ 半澤 ヤイ

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年11月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
26	ヒドリガモ オオバン ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 急に寒くなりましたが、思ったより暖かく手袋はいりませんでした。風もあまりなく快晴でした(日の出は6時半)。帝科大近くの隅田川沿いにはユリカモメがたくさんいるのですが(ウォーキング中のシニアの方もそうおっしゃっていました)、本日はほとんどみられませんでした。川沿いの記録にカモsp.としたのは恐らくほとんどヒドリガモですが、遠すぎて双眼鏡では確認できませんでした(一部をコンデジで撮影した後でヒドリガモと確認しました)。ツグミとジョウビタキを期待していましたが、全く見られませんでした。京成線の隅田川にかかる鉄橋付近(対岸の三河島水再生センターの排水溝?付近)にカモやオオバン、ユリカモメがたくさん群れていました(冬の光景です)。 	Aブロック 中村 博一
26	ヒヨドリ メジロ ジョウビタキ イソヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 冬になり、ヒヨドリが多くなり、メジロもよく見られました。冬鳥はジョウビタキが確認できました。 イソヒヨドリが西新井栄町のビルの上にはいました。 	Bブロック 山崎 裕子
28	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ヒヨドリたちの数が増えてきたようで、いつものヒーヨヒーヨという鳴き声の他にも、いろんな鳴き方をしていました。どの場所もヒヨドリに占領されたような感じがしました。 	Cブロック 中尾 文枝
30		<ul style="list-style-type: none"> 毎冬、ジョウビタキが来ている遊休農地が宅地になってしまい鳥がとても少なく感じた。 	Eブロック 後藤 みどり

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成30年11月(繁殖行動確認)

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
カイツブリ	舎人公園大池	18	・カイツブリの成鳥がヒナを背にのせ行動している。	Cブロック 羽賀 清行
オナガ	梅島一丁目4番地		・幼鳥を連れていた。	Dブロック 久保田 靖子

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成31年1月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	ヒヨドリ カワラヒワ ホシハジロ キンクロハジロ ヒドリガモ オオバン キジバト	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝、担当区域で猛禽類に会えるのではないかと確率的には可能性はほとんどない。希望は大きく、日の出時刻とともに調査開始。 ・午前6時49分、神明コミュニティ広場でヒヨドリ1羽。午前7時00分、神明南公園の西側にある耕地の柿を啄んでいるヒヨドリ1羽を確認。ヒヨドリが活発に活動しているのを感じる。 ・午前7時13分、神明南1丁目14番先電線にカワラヒワ9羽を確認。午前7時30分、花畑川にホシハジロ7羽。キンクロハジロ2羽。ヒドリガモ2羽、オオバン2羽を確認。午前8時15分、高圧線に猛禽類？双眼鏡でキジバトと確認した。初夢ならず。 	Eブロック 宮田 美徳
2	オオバン	<ul style="list-style-type: none"> ・好天に恵まれ比較的暖かな朝新年だけに早朝の人影も少なくそのためか鳥も「のんびり」とした感じでした。 ・江北陸橋下の水面にオオバンが群れていました。 	Aブロック 糸川 宗尊
2	クイナ アオジ コガモ バン オオバン メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・観察時間帯と干潮時刻が重なる2日に調査を実施しました。 ・担当地域で、初めてクイナとアオジを観察しました。クイナは毛長川の川岸で餌を探す様子を、アオジは川岸の葦に留まっていた。 ・コガモは毛長川の尾久橋通りの上流で19羽、下流で7羽観察しました。 ・11月の観察では確認できなかったバンを今回の観察で1羽確認しました。 ・昨年は20羽以上を観察したオオバンは5羽のみの観察でした。 ・メジロは舎人氷川神社の山茶花の花で6羽を観察しました。 	Cブロック 鈴木 清文
3	ツグミ カワウ ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> ・6:30から調査開始。草地に霜、霜柱、池に薄氷、手袋をした指先が痛く、寒い朝であった。 ・トリの種類は21種(昨年20種、一昨年26種)と昨年並であった。 ・冬鳥のうち、ツグミは飛来しているが、ホオジロ、アオジの姿はなかった(今期末確認)。 ・上空を雁行するカワウ、乱れ飛ぶユリカモメの飛び方が対照的で印象深かった。(2019.1.4 鹿浜橋右岸) 	Aブロック 直木 大助
5	ジョウビタキ キンクロハジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・日が昇ってあまり時間がたっていない時間帯、鳥たちは活発に飛び回るより枝や電線にとまっているものが多いようだ。その多くがペアでとまっている。既に繁殖期の初期段階が始まっているのかもしれない。 ・旧綾瀬川に隣接する児童遊園でジョウビタキのオスを見た。この区域でオスのジョウビタキを見たのは初めてだ。 ・旧綾瀬川は荒川から隅田川に向かって急流のように流れていたが、流れに逆らってキンクロハジロのメスが必死に泳いでいた。 ・関屋町公園でウグイスの笛鳴き(地鳴き)が聞こえた。そっと植え込みに近づきのぞき込んでみたが姿を見ることはできなかった。 	Aブロック 馬場 猛夫

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
5	セイタカシギ	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ満潮で、干潟は水没していた。 ・西新井橋と扇大橋の中間位の、川の中に杭が立っている場所の岸にセイタカシギが3羽いた。干潟が水没状態のため、休んでいたらしい。逆光で草の陰だったため、雌雄等の確認はできず。西新井橋方向に飛び去った。 	Bブロック 渡辺 浩
5	メジロ ツグミ ウグイス ツミ ゴイサギ ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・メジロ...12月中にはフィールドで見られず1月になってからだった。 ・ツグミ...ケ、ケ、ケという声は2回ほど聞いたが姿はまだ見ていない。 ・ウグイス...10月末頃から時々庭に来た。今は毎日水あびに来る。 ・アオジ...調査でも圀川散歩でも見ていない。 ・今季の冬鳥 ツミ...調査の時近い場所で3羽見たが、2羽は一緒にいて、若鳥の様だった。ゴイサギ、4羽で11月から毎日H宅の樹上で日向ぼっこです。 ・ジョウビタキ、 です。 	Eブロック 嵯峨 信子
5	メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・7:20家々の屋根から朝日が顔を出す。快晴だが寒い。8時少し前、日が高くなって来てメジロが目立つようになってきた。が、手先は凍えている。メジロの姿確認と数を算えるのに手間取って、普段より30分程時間が掛かってしまった。(メジロは)実際にはもっと多くいたかも知れない。 	Eブロック 大和田 司 (東和全域と谷中公園)
7		<ul style="list-style-type: none"> ・天気：快晴 北西2 ドバト132羽以上 ・12月18日(火)午前9時頃、千住新橋荒川左岸の蛇籠のある所にできた干潟みたいところにセイタカシギと思われる1羽がいて、餌をついばんでいた。ここはよくアオサギ、オオバン、カワウ、イソシギ、カモ類がいるところでここでセイタカシギを見たのは初めて。次の日はいなくてこの日だけだったかもしれない。 ・12月中時々荒川河川敷でチョウゲンボウを見る。 	Aブロック 長谷川 澄雄
7	コゲラ	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い朝であったが、日が昇ると徐々に暖かくなった。冬によく見られるコゲラを発見できて良かった。 	Eブロック 藤並 剛
12	ハクセキレイ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・7時に家を出る時は、薄日が見えていたが、現地に着いた頃には雲がすっかり空を覆って、北寄りの風も少し強めに感じた。中川の水鳥を期待したが、4種のみで数も少なかった。飯塚橋下流にいるのかも知れぬ。帰路、カワウが川の方へ飛んで行くのが見えたが調査地外。アスファルトの地面を歩きながら、1羽で何かついばんでいるハクセキレイがあちこちで見られた。川が近いせいか。ムクドリが少し多めに群れていると思ったら、ピラカンサが実をたわわに付けていた。終盤かなり冷えた。 	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁目)
12		<ul style="list-style-type: none"> ・今日はカモの種類が多く、ここで5種類も出たのは初めてです。 ・土手が工事中の為、二ヶ月ごとに地形が変わっています。 	Eブロック 安藤 京子
12		<ul style="list-style-type: none"> ・カモメの種類は飛行中で判断できませんでした。 	Eブロック 上田 智子

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成31年1月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
13	オオバン ヒドリガモ キンクロハジロ クサシギ	<ul style="list-style-type: none"> ・新芝川ではオオバン、ヒドリガモ、キンクロハジロなど例年よりも多く見られた。クサシギは初観察。ハジロカイツブリまたはミミカイツブリを観察した。 ・都市農業公園の上空を中型の猛禽類を観察したが特定できず。ハヤブサともチョウゲンボウとも違う。翌週新田水広場でオオタカを初観察(写真同封)都市農業公園のそれもオオタカかかもしれない。 	Cブロック 永田久男
13	セイタカシギ	<ul style="list-style-type: none"> ・この調査地で久しぶりにカモを観察しました。それとうれしいのはセイタカシギが見られたことです。モニター調査では初めての観察です。特記事項に「地鳴き」とあるのは声のみの観察になります。 	Aブロック 綱藤 敏郎
13		<ul style="list-style-type: none"> ・気温低く、野鳥少ない。 ・タヌキ発見、2回。 	Bブロック 清水 正嗣
13	ジョウビタキ スズメ ヒヨドリ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> ・西公園の藤棚にジョウビタキ、今年もうれしい出会いです。 ・然し、今朝のスズメ達、トランス付近でひそやかに鳴いています。 ・元気に飛び交うヒヨドリ、杉の枝の間を舞うオナガ、例年通りです。 ・でも、鳥の数の少ない朝でした。 	Dブロック 久保田 靖子
14	チョウゲンボウ	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の日で休日のせいか河川敷にはサッカーの試合があり、また小潮で干潟が少なくその分だけ鳥の数がすくない様に感じました。 ・チョウゲンボウは扇大橋上空を仲良く2羽で飛んでいました。江北橋の上流にオオバン11羽とホシハジロ14羽を確認しましたが、調査区域外ですので報告書にはカウントしていません。 	Bブロック 清水 猛
14	ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかに晴れた河川敷には、ユリカモメの大きな群れが二つ。千住新橋近く、餌付けをしている人がいて、ドバトとユリカモメ200羽ほどに囲まれていた。 	Bブロック 添田 善雄
14	カワウ ヒヨドリ ユリカモメ カルガモ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> ・雲のない晴天の朝、草原の上、霜が白っぽく輝いてきれいでした。 ・カワウ、ヒヨドリ、ユリカモメ、カルガモは多くいました。 ・ツグミ、やっと近くの木に止まり(一羽)会えてホットしました。 	Bブロック 森 美智子
14		<ul style="list-style-type: none"> ・落葉が終わった木は小鳥を見るのが楽で、数えるのが楽しいくらいでした。 ・赤い実をつけた木が多く、それに集まる鳥も多く、季節による差を感じました。 	Cブロック 白井 望

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
14		<ul style="list-style-type: none"> 計8種の確認でした。快晴の気持ち良い天候下の調査で、ますますの成果と感じています。 	Dブロック 坪内 淑子
14		<ul style="list-style-type: none"> 冬晴れの好条件の天候でしたが、調査結果は6種の確認と乏しいものでした。個体数も少なく、最近、野鳥との出会いが少なくなっているように感じます。 	Dブロック 坪内 英昭
14	ハシブトガラス アトリ シメ ヒヨドリ キジバト シジュウカラ オオタカ ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 1月の調査は、東京の日の出よりちょっと遅く始めることになりま。まだ、太陽の光は地表に届いていません。原の草や枯葉はうっすら白く霜がおりています。水溜りには薄氷がはっています。そんな中ハシブトガラスが私を迎えてくれました。このガラス右の羽根が折りたたみません。何かで怪我をしたようです。それでも地上2.3メートルの木の枝や民家の屋根まで飛びゴミ収集の日には餌をさがしにあらわれます。もう2年くらい公園の中やそのまわりで見かけます。 さて、旧バーベキュー広場にアトリが5羽入って来ました。シメも1羽1年振りのご対面です。この時季多く見かけるヒヨドリ、キジバトのほか今朝はシジュウカラも多く見られましたが、今年はツグミは見られません。 公園上空にオオタカが舞いました。一斉にユリカモメ、ドバト、ガラス、カモ類も乱舞し上空は騒然となりました。オオタカはほんの少しで飛び去りましたが、散々バラバラになった鳥達を見きわめ、カウントするのに大変になってしまいました。猛禽1羽が私の調査の邪魔をしてくれました。 	Cブロック 羽賀 清行
16	ダイサギ	<ul style="list-style-type: none"> 千草園の小さな池にダイサギ1羽、初めての飛来。小魚をねらいついばんでいた。 毎年観察していたツグミ 確認できず。 	Aブロック 北島 喜彦
16	スズメ	<ul style="list-style-type: none"> 裏門セキの水路、(古川)工事で一部底が枯れている所、タヌキ?の足跡。 今日は、スズメの姿が少ない。 コミュニティセンター公園の白梅咲きはじめ。 	Dブロック 山田 友治
17	スズメ マガモ オナガガモ ヒドリガモ コサギ	<ul style="list-style-type: none"> スズメが少なかったのは何故なんだろう。 マガモが1羽オナガガモの群に入れなくていた。 ヒドリガモの 公園の池で初観察。 コサギは池の中より陽の当る高い木に止まった。 	Eブロック 半澤 ヤイ
20	ムクドリ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 全般的に鳥が少なかった中で、ムクドリが畑に群れて給餌していた。 ツグミが例年より、確認できたのが少なかった。 	Bブロック 内田 保
20	カワセミ ムクドリ スズメ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 何年かぶりに、桜花亭の外堀で「カワセミ」を見た。 ムクドリの数が、スズメを上回っているようだ! 「ツグミ」も今期は数羽しか見てない... 	Dブロック 小巖 たづ子

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成31年1月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
20	ジョウビタキ ツグミ	・ジョウビタキ、何年かぶりに神社の庭の木の上でジョウビタキを見ることが出来ました。公園でツグミを観察することが出来て良かったです。	Dブロック 矢野 毅
24	スズメ ジョウビタキ チョウゲンボウ	・今冬、ツグミは見ませんでした。スズメが少なくなったのも気になります。 ・電線の上にジョウビタキを見つけました。中川土手では目の前をチョウゲンボウが横切って行きました。思いがけない事だったので、嬉しかったです。	Eブロック 谷田貝 知子
26	ユリカモメ	・川の遊歩道で餌をまいている人がおり、ユリカモメがたくさん集まってきました。他の冬鳥たちも少なく寂しい感じでした。	Cブロック 中尾 文枝
27	ツグミ ヒドリガモ	・快晴でしたが、数日来風が強く(それでも本日は弱い方で風速5m~10mぐらいでしょう)、隅田川はどこも波が立っていました。帝京科学大付近の隅田川を歩く人も「今日は鳥が少ないね」と言っておられました。8時近くになり陽射しがあってもかえって手が痛み出し、しびれてくるような寒さでした。期待していたツグミはほとんど見られず、緑町付近にジョウビタキやモズもいませんでした(鳥が少ないとメモに書きました)。一方いつもよりカラスが目立ちまして墨堤通りでは飛び回る個体が複数見られました。緑町付近の隅田川ではヒドリガモ以外もカモがいた可能性があります。桜木町からの双眼鏡では遠すぎて確認できませんでした。カモsp.として数えました。	Aブロック 中村 博一
31	ヒヨドリ	・1月でしたが最終日の本日は曇り。鳥達も身をひそめているようで声もほとんど聞こえず。ヒヨドリだけが元気でした。	Dブロック 小丸 望美
31	ユリカモメ ハシブトガラス	・川の上空でユリカモメがハシブトガラス2羽に追いかけていた。	Eブロック 後藤 みどり
31		・寒中寒さが厳しいが梅の花が咲き始めている。 ・曇り空の中鴨たちの姿は少なかった。	Dブロック 岩崎孝和
2月5日 (1月調査分として実施)	ジョウビタキ	・住宅街には鳥が少なく、公園などに多く確認できた。 ・冬鳥は、ジョウビタキのみが確認できた。	Bブロック 山崎 祐子

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	アオジ ウグイス カワセミ コガモ	<ul style="list-style-type: none"> 今年も毛長川の浚渫工事が始まり、尾久橋通りより下流では殆ど野鳥を観察できませんでした。 アオジ、ウグイスは毛長川沿いの草むらで観察しました。 カワセミは牝が木の枝にとまっている所に、牡が飛んで来て2羽で下流方向に飛んで行きました。 1月の観察で、コガモは牡と牝が別グループで集まっている観察が多かったが、今回(3月)の観察ではカップル毎の行動を多く観察しました。 	Cブロック 鈴木 清文
1	オオバン カンムリカイツブリ	<ul style="list-style-type: none"> オオバンの数の多さが今月も目立つ。 カンムリカイツブリは新芝川では初観察。 	Cブロック 永田 久男
1	スズメ ムクドリ メジロ シジュウカラ ハクセキレイ	<ul style="list-style-type: none"> 6時丁度に出た。雨は霧雨の弱い感じだったのと雨の天気予報ではなかったの、出かけた。20分程過ぎたころから少し降り出し、傘が必要になったが、小鳥たちの姿も結構見えるし、続行。 スズメとムクドリ、メジロが群れているのが目立った。 最後に、北三谷公園で、メジロ12羽の群れを見て、シジュウカラが1羽ツビ-ツビ-と鳴いているのとハクセキレイが地面を歩き回っているのを見て終了。終わる頃には、雨もほぼ止んで良い観察日和だった。 	Eブロック 大和田 司 (東和全域と谷中公園)
2	ムクドリ ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 雲一つない快晴でしたが、北風が冷たく真冬のような感じでした。 ムクドリ、ヒヨドリはいましたがスズメは一羽も見かけませんでした。 カモが集団で飛んで行きました。種類が解らなく残念です。 	Bブロック 森 美智子
2	オナガ ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> オナガが、ハシブトガラスを追い払っていました。 気の強い鳥の印象を受けました。これから、カラスの繁殖時期なので注意が必要です。 	Dブロック 矢野 毅
2	イソヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> 昨年も3月に、今年も3月に、イソヒヨドリが が出てくれました。季節が関係しているのでしょうか。 	Eブロック 安藤 京子
2	メジロ ツグミ カワラヒワ ゴイサギ ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> この冬はカモ類の数が少なかった。アオジ、アカハラ、シロハラは見られなかった。 メジロ、ツグミも少ない。 カワラヒワは、公園のニレの木でにぎやかに採食。 ゴイサギは、成鳥1羽しか見られなかった。 ウグイスは毎日庭に水飲み水浴びに来る。(、 交代で、たまに一緒に来たり) 	Eブロック 嵯峨 信子

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
平成31年3月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
2	ヒヨドリ スズメ メジロ ワカケホンセイ インコ ユリカモメ セグロカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 午前7時、所定のコースである神明コミュニティ広場から調査開始。ヒヨドリ、スズメの姿を見る。神明南公園のイチョウの木にスズメ15羽、同公園西側耕地の梅の木にメジロ2羽を確認。雪見公園西側工場の建物壁にスズメ10羽確認。 花畑川緑地の河津桜でワカケホンセイインコ2羽〔ペット野生化種、調査用紙には()で記載〕が啄んでいる。数名の方がこの桜とインコを同時に楽しんでいた。川面にはユリカモメに混じってセグロカモメ1羽を確認。 午前9時、神明コミュニティ広場に戻るとゲートボールの準備が始まっていた。 	Eブロック 宮田 美徳
3	カルガモ シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> カルガモが一齐に飛びたつ場面に出くわした。幅の狭い公園内の川なので、目の前で大変迫力があつた。 シジュウカラが小枝らしきものを運んでいたのが印象的だった。また、キンカンらしき果実をついばむ個体が数羽みられた。近所に実がなる樹木があるらしい。 	Cブロック 白井 望
3		<ul style="list-style-type: none"> 曇天の中、出かけ予報通り雨になってしまったが種別ではかなり多く見られた。 カラスは忙しそうに枝を運び巣造りをしている(この区域では「ハシボソ」の方が多いうのだ、、、、)。 	Dブロック 小巖 たづ子
3	スズメ ヒヨドリ アオジ セグロセキレイ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 気温の低い肌寒い朝です。スズメ達もトランス付近で鳴いています。ヒヨドリもいつもの元気がありません。しかし、アオジ、セグロセキレイ、ツグミに出会えました。 	Dブロック 久保田 靖子
3	シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> 今にも雨が降ってきそうな中で、シジュウカラが多く見られた。 	Eブロック 藤並 剛
5	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 隔月調査の11月、1月にはいなかったツグミが今回3月になってからようやく4羽を確認した。 	Aブロック 井灘 志げ子
5	ヒヨドリ メジロ ムクドリ ハクセキレイ タヒバリ	<ul style="list-style-type: none"> ヒヨドリ鉢植えの椿にホバリングしながら吸蜜していた。 千草園でヒヨドリにおわれながらも何本かある梅でメジロが吸蜜していた。 土手に上がり河川敷を一望するもツグミ見あたらずムクドリ2羽ハクセキレイ2羽のみ。 昨夜の雨でできた河川敷の小さな水たまりにタヒバリ5羽、餌をついばんでいた。 	Aブロック 北島 喜彦
5	ムクドリ スズメ ツグミ モズ	<ul style="list-style-type: none"> 雨あがりの朝。6時くもり、肌寒く、手袋をした指先がしびれる。しかし、観察の終わる8時には、おだやかに晴れ、暖かくなった。春がすみで富士山は見られなかった。 今回は、23種(昨年21種)観察された。 昨年はムクドリ(30羽VS昨年78羽)、スズメ(39羽VS昨年225羽)が多く見られたが、今年は少なかった。 河川敷のツグミは樹上に多く、地上では認められなかった。 モズが、同時に4羽観察された。1組のオスがしきりとディスプレイをしていた。 	Aブロック 直木 大助

平成31年3月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
5	ハクセキレイ カルガモ	<ul style="list-style-type: none"> ・数日、寒い雨の日続きで、今朝は好天、暖かい。足元の野草の緑が美しい。ハクセキレイが尾を振って歩いている。近日中に又雨が降る予感。 ・カルガモ、コミュニティセンターの水路 ・カルガモ、拘置所脇の水路 	Dブロック 山田 友治
5	オナガ スズメ オナガガモ メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内でオナガやスズメ、オナガガモ等にエサをやるひとたちが4人いた。 ・雨上がりの暖かい日だったので保育園児の散歩グループ4組に出会った。その内の1グループ：私がベンチに座り前方の梅の花の中で食事中のメジロをぼんやり見ていると引率の先生がメジロに気付き「キレイな鳥が沢山いる、(4羽)ウグイスかな」というので「メジロです」と教えてしばらく皆で観察した。プロミナを持参していなかったので残念でした。 	Eブロック 嵯峨 信子 (半澤代理)
6		<ul style="list-style-type: none"> ・天気：曇り、風弱し ドバト66羽以上 ・2月5日(火)午前10時頃タシギ2、2月22日(金)午前8時30分頃タシギ2 千住新橋左岸上流側 ・今日は、曇りだが風がなく昨日の暖かさが残り梅や菜の花が咲いている庭もあった。春の気配に満ちていた。 	Aブロック 長谷川 澄雄
6	ムクドリ スズメ ハシボソガラス カワラヒワ ユリカモメ ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> ・どんよりした平日、前回より、比較的多数の個体数を確認した。 ・特にムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、カワラヒワ、ユリカモメ、ツグミが目立った。 	Bブロック 添田 善雄
6	オオバン ユリカモメ カワウ ヒドリガモ カモメ スズメ ムクドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・家を出た途端、小雨降り出し、傘を取りに戻る。15分程で止み観察中は降らずに助かった。いつもカラスが群れている団地内の櫛の林に今日は一羽も見当たらなかった。燃えるゴミの収集日なので、生ゴミを漁りに出かけてしまったか。 ・水鳥が少なかったので、帰路、飯塚橋下流の様子を見たら、30メートル位の間にオオバン21、ユリカモメ3、カワウ1、ヒドリガモ16、カモメ3その他、スズメ、ムクドリなどが結構居るのを確認できた。先ずは安心？ 	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁目)
8	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> ・前日は一日中雨で、当日は晴天でしたが北風がありました。 ・冬鳥はツグミ1羽だけ確認できました。 ・対象エリアは住宅街なので野鳥がいるのは公園が主ですが、公園にも少なかったです。 	Bブロック 山崎 祐子
9	ハシブトガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりの快晴の朝、冷え込んだせいか鳥の姿がいつもより少ない。まだ早すぎると思うのだがカモメカモメも全くいない。 ・繁殖行動の始まりだろうが、空にハシブトガラスのメス(たぶん)を追って複数のオス(たぶん)が長い時間曲芸飛行をしているのが目立つ程度だった。 	Aブロック 馬場 猛夫

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成31年3月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
9	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・天気は快晴でしたが、霜柱が立つような寒い朝でした。 ・寒さのせい、観察できた鳥の種類・数とも少なかったです。 ・ヒヨドリの姿が大分少なくなってきました。 	Bブロック 内田 保
9		<ul style="list-style-type: none"> ・3月なのに霜が降りていた。満潮で干潟が水没していたためか、水鳥が少なかった。 	Bブロック 渡辺 浩
9	ジョウビタキ	<ul style="list-style-type: none"> ・季節は春めいて来ましたが、今朝は冬型の気圧配置で、霜がおり空気が冷たいです。 ・野鳥の調査は限られた時間ですので、希薄の鳥と出会うのは運、不運につきものです。今朝は運が良かったと思います。25種、そして多くの個体数を確認出来ました。 ・調査中いつも一服する場所があります。ベンチに座り、ドーナツを食べながらコーヒーを飲んでいると、5、6メートル横の枝木に止まったのは、ジョウビタキです。目のクリクリした可愛い女の子です。土間におりては、土を2、3、つついては、近くの枝木にとまります。私の休憩している回りで何度もくり返しています。 ・その仕ぐさが、可愛らしく、つい見とれてしまい、時間オーバーの一服になってしまいました。 ・今日は“ラッキー”と思いながら弾む心で後半の調査に精を出しました。 	Cブロック 羽賀 清行
9	ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・8種類の確認でした。ヒヨドリの「さえずり」に春を感じました。 	Dブロック 坪内 淑子
9	ウグイス	<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりに10種類を超える種数を確認できました。 ・初めてウグイスの「ホーホケキョ」を聞き、春の到来を感じました。 	Dブロック 坪内 英昭
10	スズメ ムクドリ メジロ オオバン ハクセキレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・曇りながら、わりに暖かく主に川べりを歩いた。河川敷のグラウンドには、スズメ、ムクドリが小さな群れを創っていました。 ・メジロも多数鳴き声がしていました。川面にはいつものオオバンが見られました。ハクセキレイはコンクリート上に出てくるのでしょうか？ 	Aブロック 糸川 宗尊
10	カワウ モズ	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川は満潮で蛇籠の上に居たのはカワウだけでした。繁殖期に入り野鳥の行動は活発です。どのオスも健康をアピールして腹の底から声が出ていました。 ・モズのペアがいて はヒバリのような節でラブソングを歌っていました。モズは早口で歌うほど繁殖率が高いという研究を最近読んだばかりです。この は僕が聞く限りとても優秀です。 ・そういえばヒバリもセッカも見かけなくなりました。 	Aブロック 綱藤 敏郎

平成31年3月(観察記録)

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
10	ヒヨドリ スズメ マガモ ヒドリガモ ユリカモメ	<ul style="list-style-type: none"> 春めいてヒヨドリやスズメの鳴き声が賑やかに感じました。快晴でほぼ風もなく、日曜日ということもあって路上の鳴き声も聞きやすかったです。日陰に入るとやはり手が痛くなるような寒さが残っていましたが、8時台になると暖かく、沈丁花の香りも強く感じられました。 墨田川では珍しくサギ類を見ませんでした。千住桜木町公園前の川面にマガモの群れがいました(今日の目玉です)。千住小仮校舎付近の川面(8時前)でヒドリガモとユリカモメが数羽ずつ飛び立ち上流に向かう姿を見ました(規則的で興味深かったです)。千住緑町の電柱では接続箱(巣)付近で羽毛に黒さが残る幼鳥が数羽ずつ鳴いていました。 	Aブロック 中村 博一
10	メジロ オナガ	<ul style="list-style-type: none"> 少し暖かく、住宅地や寺院などに咲いている梅の花にメジロが来ておりました。寺院にあるシュロの木の皮をオナガたちが剥がして啜えながらしきりに飛び回っていました。 	Cブロック 中尾 文枝
10	ヒヨドリ メジロ	<ul style="list-style-type: none"> 風はなく日差しのある穏かな日だったが、鳥の姿は少なかった。 ヒヨドリが椿、メジロが梅の花をつつく姿が多く見られた。 	Dブロック 岩崎 孝和
10		<ul style="list-style-type: none"> 中川土手、姿は見つかりませんでした。ウグイスの囀りが聞こえてきました。 	Eブロック 谷田貝 智子
12	ツグミ	<ul style="list-style-type: none"> 天気と気温に恵まれた快適で絶好の野鳥観察日和で、鳥の種類も数も満足出来るモニターでした。 今年は見るとの機会が少なかったツグミですが、今回の調査では河川敷にかなりの数が集結しているのが確認できました。 	Bブロック 清水 猛
12	スズメ ハシボソガラス	<ul style="list-style-type: none"> 寒い雨が続けていたので久々の春の晴れ日緑が心地よかった。 特別な鳥は全く見かけなかったが木のほこらでスズメが巣作りをしていたり、カラスが巣材を運んでいたりと随所に春の繁殖期前の行動が見られた。またさくら橋?周辺が工事中とのこともあり全体観測数は少なかった。 	Dブロック 小丸 望美
12		<ul style="list-style-type: none"> 春の様な一日でしたが、鳥が少なく残念でした。 	Eブロック 後藤 みどり

平成30年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録
 平成31年3月(繁殖行動確認)

種名	確認場所	観察日	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
アオサギ	新田水辺広場	28	・倒れたアシの上に小枝を集めた巣。 卵は3個確認。孵化直前に何者かに持ち去られた。(写真あり)	Cブロック 永田久男
モズ	河川敷のトウネズミ モチの木の梢	10	・いい感じで寄り添っていた。	Aブロック 網藤 敏郎
ハシブトガラス	タコ公園欒の木	1	・欒の巣の中で、少し動いては抱卵する ような動きをしていたが、卵があるか どうかは確認できなかった。	Eブロック 大和田 司 (東和全域と谷 中公園)
ムクドリ	大谷田一丁目民家	6	・家の戸袋の中に入って行った。	Eブロック 大和田 司 (大谷田一丁 目)
	千住元町3階建て住居	10	・3階の換気扇に飛び込んでいった。	Aブロック 網藤 敏郎

資料編

資料 1

平成30年度 野鳥モニタ一名簿・担当地域（五十音順・敬称略）

No.	氏名	担当地域	
1	安藤 京子	E	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
2	井灘 志げ子	A	宮城全域（河川敷含む）
3	岩崎 孝和	D	保木間一～三丁目
4	上田 智子	E	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
5	内田 保	B	興野二丁目、扇三丁目
6	大和田 司	E	東和全域・谷中公園
			大谷田一丁目
7	北島 喜彦	A	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
8	久保田 靖子	D	梅島一～三丁目
9	糸川 宗尊	A	小台全域（河川敷含む）
10	小巖 たづ子	D	花畑三～五丁目
11	後藤 みどり	E	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
12	小丸 望美	D	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
13	嵯峨 信子	E	神明一～三丁目、六木三・四丁目（垢川、中川含む）
14	清水 猛	B	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
15	清水 正嗣	B	鹿浜橋～熊の木（荒川左岸河川敷）
16	白井 望	C	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
17	鈴木 清文	C	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
18	鈴木 操	B	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
19	添田 善雄	B	西新井橋～千住新橋（荒川左岸河川敷）
20	塚野 守	A	西新井橋～千住新橋（荒川右岸河川敷）

No.	氏名	担当地域	
21	綱藤 敏郎	A	千住元町(荒川河川敷除く)、千住桜木二丁目
22	坪内 淑子	D	西保木間一～三丁目
23	坪内 英昭	D	保木間四・五丁目
24	直木 大助	A	新田全域(荒川右岸河川敷含む)
25	中尾 文枝	C	西竹の塚二丁目、東伊興二・三丁目(毛長川含む)、伊興本町一・二丁目
26	永田 久男	C	都市農業公園(新芝川含む)、芝川水門～鹿浜橋(荒川左岸河川敷)
27	中村 博一	A	千住桜木一丁目、千住緑町全域(隅田川含む)、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
28	羽賀 清行	C	舎人公園
29	長谷川 澄雄	A	千住五丁目、日ノ出町全域(河川敷含む)
30	馬場 猛夫	A	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
31	半澤 ヤイ	E	東綾瀬公園
32	藤並 剛	E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
33	宮田 美徳	E	神明南一・二丁目、北加平町
34	森 美智子	B	熊之木～江北橋(荒川左岸河川敷)
35	谷田貝 知子	E	大谷田二(中川含む)～五丁目
36	矢野 毅	D	島根全域
37	山崎 祐子	B	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
38	山田 友治	D	西綾瀬全域
39	渡辺 浩	B	扇大橋～西新井橋(荒川左岸河川敷)

資料2 調査月別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	0	0	5	0	0	5
2			ヒドリガモ	0	0	0	87	414	197	698
3			マガモ	0	0	0	2	4	7	13
4			カルガモ	123	98	58	179	191	154	803
5			ハシビロガモ	0	0	0	0	2	1	3
6			オナガガモ	0	0	0	63	88	27	178
7			コガモ	0	0	0	29	32	72	133
8			ホシハジロ	0	0	0	16	55	16	87
9			キンクロハジロ	1	0	0	50	94	32	177
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	5	6	5	10	12	9	47
11			カンムリカイツブリ	0	0	0	0	2	3	5
12	ハト	ハト	キジバト	117	112	83	94	166	174	746
13	カツオドリ	ウ	カワウ	60	35	43	88	286	127	639
14	ペリカン	サギ	ゴイサギ	0	1	2	4	4	2	13
15			アオサギ	8	17	19	24	18	8	94
16			ダイサギ	7	8	5	6	2	8	36
17			チュウサギ	0	0	1	1	0	0	2
18			コサギ	8	7	13	11	3	2	44
19	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	1	1	2
20			バン	9	4	1	5	11	12	42
21			オオバン	2	0	2	132	250	242	628
22	チドリ	チドリ	コチドリ	2	0	1	1	2	0	6
23			メダイチドリ	18	0	0	0	0	0	18
24			シギ	セイタカシギ	0	0	0	0	4	0
25		タシギ		2	0	0	0	0	0	2
26		チュウシャクシギ		4	0	0	0	0	0	4
27		クサシギ		0	0	0	0	1	0	1
28		キアシシギ		21	0	0	0	0	0	21
29		イソシギ		9	6	7	9	11	5	47
30		カモメ		ユリカモメ	10	0	1	147	682	328
31			ウミネコ	1	3	1	9	2	1	17
32			カモメ	0	0	0	3	9	6	18
33			セグロカモメ	0	0	0	11	6	11	28
34			オオセグロカモメ	0	0	0	0	1	0	1
35			コアジサシ	18	0	0	0	0	0	18
36		タカ	タカ	トビ	0	0	0	1	0	0
37	ツミ			1	6	3	0	3	0	13
38	オオタカ			0	0	0	0	1	0	1
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	1	5	4	2	2	14
40	キツツキ	キツツキ	コゲラ	1	0	4	1	3	1	10
41	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	2	0	1	3	4	2	12
42			ハヤブサ	0	1	1	1	0	0	3
43	スズメ	モズ	モズ	3	0	5	25	15	13	61
44		カラス	オナガ	211	187	178	102	134	85	897

NO	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計	
45	スズメ	カラス	ハシボソガラス	120	125	159	138	144	193	879	
46			ハシブトガラス	158	185	204	245	247	235	1,274	
47		シジュウカラ	シジュウカラ	83	72	90	83	126	121	575	
48		ヒバリ	ヒバリ	7	9	1	1	2	2	22	
49		ツバメ	ツバメ	159	235	93	0	0	0	487	
50			イワツバメ	3	23	1	0	0	0	27	
51		ヒヨドリ	ヒヨドリ	118	71	88	1,002	793	568	2,640	
52		ウグイス	ウグイス	0	0	0	4	4	6	14	
53		メジロ	メジロ	1	5	0	63	138	120	327	
54		ヨシキリ	オオヨシキリ	100	9	2	0	0	0	111	
55		セッカ	セッカ	1	0	0	0	1	0	2	
56		ムクドリ	ムクドリ	1,302	1,343	1,186	1,239	1,286	1,104	7,460	
57		ヒタキ	アカハラ	0	0	0	0	0	0	2	2
58			シロハラ	0	0	0	0	0	0	2	2
59			ツグミ	1	0	0	3	26	240	270	
60			ジョウビタキ	0	0	0	16	12	5	33	
61			イソヒヨドリ	0	0	2	2	0	1	5	
62			コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1	
63			キビタキ	1	0	0	0	0	0	1	
64		スズメ	スズメ	1,707	1,596	1,676	1,592	1,552	1,730	9,853	
65		セキレイ	キセキレイ	0	0	0	1	0	0	1	
66			ハクセキレイ	28	26	36	132	111	110	443	
67			セグロセキレイ	3	4	0	0	0	1	8	
68			ピンズイ	0	0	0	0	10	6	16	
69			タヒバリ	0	0	0	1	0	5	6	
70		アトリ	アトリ	0	0	0	0	9	25	34	
71			カワラヒワ	35	20	34	82	146	197	514	
72	シメ		0	0	0	0	11	13	24		
73	ホオジロ	ホオジロ	0	0	0	6	16	14	36		
74		カシラダカ	0	0	0	0	1	0	1		
75		アオジ	0	0	0	8	8	25	41		
76		オオジュリン	0	0	1	1	21	31	54		
種名特定できず			カモSP	1	0	6	25	33	11	76	
			カイツブリSP	0	0	0	0	1	0	1	
			カモメSP	0	0	0	5	0	1	6	
			カラスSP	0	1	1	0	7	7	16	
			ヒタキSP	0	0	0	1	0	0	1	
			ホオジロSP	0	0	0	4	0	0	4	
確認種個体数合計(羽)				4,471	4,216	4,020	5,777	7,220	6,323	32,027	
(参考)かごぬけ			ワカケホンセイインコ	7	0	2	0	0	2	11	

資料3 ブロック別確認種と個体数

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	0	0	0	5	5
2			ヒドリガモ	255	46	210	0	187	698
3			マガモ	9	2	0	0	2	13
4			カルガモ	112	71	319	101	200	803
5			ハシビロガモ	0	0	3	0	0	3
6			オナガガモ	0	8	20	0	150	178
7			コガモ	40	5	87	0	1	133
8			ホシハジロ	26	1	40	0	20	87
9			キンクロハジロ	98	16	46	0	17	177
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	2	2	42	1	0	47
11			カンムリカイツブリ	4	0	1	0	0	5
12	ハト	ハト	キジバト	128	59	217	159	183	746
13	カツオドリ	ウ	カワウ	257	275	19	12	76	639
14	ペリカン	サギ	ゴイサギ	0	3	1	0	9	13
15			アオサギ	49	22	11	0	12	94
16			ダイサギ	9	12	8	0	7	36
17			チュウサギ	2	0	0	0	0	2
18			コサギ	14	13	13	1	3	44
19	ツル	クイナ	クイナ	0	0	2	0	0	2
20			バン	3	0	39	0	0	42
21			オオバン	226	88	217	4	93	628
22	チドリ	チドリ	コチドリ	2	0	4	0	0	6
23			メダイチドリ	0	18	0	0	0	18
24			シギ	セイタカシギ	1	3	0	0	0
25		タシギ		2	0	0	0	0	2
26		チュウシャクシギ		0	4	0	0	0	4
27		クサシギ		0	0	1	0	0	1
28		キアシシギ		3	18	0	0	0	21
29		イソシギ		23	17	3	0	4	47
30		カモメ		ユリカモメ	476	245	126	0	321
31			ウミネコ	4	10	0	0	3	17
32			カモメ	9	0	0	3	6	18
33			セグロカモメ	22	3	0	0	3	28
34			オオセグロカモメ	0	1	0	0	0	1
35			コアジサシ	6	2	0	0	10	18
36	タカ		タカ	トビ	1	0	0	0	0
37		ツミ		0	0	2	0	11	13
38		オオタカ		0	0	1	0	0	1
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	1	8	4	1	14
40	キツツキ	キツツキ	コゲラ	0	0	1	3	6	10
41	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	4	6	0	0	2	12
42			ハヤブサ	2	0	1	0	0	3
43	スズメ	モズ	モズ	36	19	4	0	2	61
44		カラス	オナガ	77	35	285	265	235	897

NO	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
45	スズメ	カラス	ハシボソガラス	177	99	313	131	159	879	
46			ハシブトガラス	167	162	182	223	540	1,274	
47		シジュウカラ	シジュウカラ	119	59	209	71	117	575	
48		ヒバリ	ヒバリ	22	0	0	0	0	22	
49		ツバメ	ツバメ	198	56	52	24	157	487	
50			イワツバメ	1	4	18	4	0	27	
51		ヒヨドリ	ヒヨドリ	462	292	508	562	816	2,640	
52		ウグイス	ウグイス	2	3	1	1	7	14	
53		メジロ	メジロ	72	29	55	34	137	327	
54		ヨシキリ	オオヨシキリ	98	12	0	1	0	111	
55		セッカ	セッカ	0	2	0	0	0	2	
56		ムクドリ	ムクドリ	2,390	1,432	865	1,242	1,531	7,460	
57		ヒタキ	アカハラ	0	1	0	1	0	2	
58			シロハラ	0	0	2	0	0	2	
59			ツグミ	123	85	33	14	15	270	
60			ジョウビタキ	12	6	2	7	6	33	
61			イソヒヨドリ	3	1	0	0	1	5	
62			コサメビタキ	0	0	1	0	0	1	
63			キビタキ	1	0	0	0	0	1	
64		スズメ	スズメ	2,985	1,235	1,049	2,300	2,284	9,853	
65		セキレイ	キセキレイ	0	0	1	0	0	1	
66			ハクセキレイ	176	80	57	45	85	443	
67			セグロセキレイ	6	0	0	1	1	8	
68			ピンズイ	16	0	0	0	0	16	
69			タヒバリ	5	0	1	0	0	6	
70		アトリ	アトリ	0	0	34	0	0	34	
71	カワラヒワ		210	111	96	31	66	514		
72	シメ		0	3	16	1	4	24		
73	ホオジロ	ホオジロ	24	12	0	0	0	36		
74		カシラダカ	1	0	0	0	0	1		
75		アオジ	13	22	4	2	0	41		
76		オオジュリン	32	16	6	0	0	54		
種名特定できず				カモSP	75	0	0	0	1	76
				カイツブリSP	0	0	1	0	0	1
				カモメSP	4	1	0	1	0	6
				カラスSP	14	0	0	0	2	16
				ヒタキSP	1	0	0	0	0	1
				ホオジロSP	4	0	0	0	0	4
確認種個体数合計(羽)				9,315	4,728	5,237	5,249	7,498	32,027	
(参考)かごぬけ		ワカケホンセイインコ	0	0	5	4	2	11		

資料4 平成30年5月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	3	0	0	0	8	0	0	8
2	イソシギ	5	3	0	0	1	9	0	0	9
3	イワツバメ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
4	ウミネコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
5	オオバン	0	0	1	0	1	1	1	0	2
6	オオヨシキリ	91	8	0	1	0	19	0	81	100
7	オナガ	11	12	71	63	54	2	107	102	211
8	カイツブリ	0	0	5	0	0	0	5	0	5
9	カルガモ	16	6	53	26	22	38	78	7	123
10	カワウ	12	29	5	1	13	53	3	4	60
11	カワラヒワ	13	12	5	0	5	15	9	11	35
12	キアシシギ	3	18	0	0	0	21	0	0	21
13	キジバト	27	10	23	23	34	15	47	55	117
14	キビタキ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
15	キンクロハジロ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
16	コアジサシ	6	2	0	0	10	18	0	0	18
17	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
18	コサギ	3	4	1	0	0	8	0	0	8
19	コチドリ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
20	シジュウカラ	22	13	17	16	15	10	42	31	83
21	スズメ	535	231	176	467	298	233	597	877	1,707
22	セグロセキレイ	2	0	0	0	1	0	2	1	3
23	セッカ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
24	ダイサギ	3	2	1	0	1	7	0	0	7
25	タシギ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
26	チュウシャクシギ	0	4	0	0	0	4	0	0	4
27	チョウゲンボウ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
28	ツグミ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
29	ツバメ	60	26	17	6	50	61	33	65	159
30	ツミ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
31	ハクセキレイ	10	5	3	4	6	14	5	9	28
32	ハシブトガラス	22	20	20	43	53	20	60	78	158
33	ハシボソガラス	31	16	42	17	14	29	54	37	120
34	バン	0	0	9	0	0	1	8	0	9
35	ヒバリ	7	0	0	0	0	6	1	0	7
36	ヒヨドリ	30	10	21	15	42	9	48	61	118
37	ムクドリ	413	291	176	211	211	482	402	418	1,302
38	メジロ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
39	メダイチドリ	0	18	0	0	0	18	0	0	18
40	モズ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
41	ユリカモメ	9	1	0	0	0	10	0	0	10
	合計	1,344	752	649	893	832	1,127	1,504	1,839	4,470
*	カモSP	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	総合計(羽)	1,345	752	649	893	832	1,128	1,504	1,839	4,471

(参考)	ワカケホンセイインコ	0	0	3	4	0	0	2	5	7
------	------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

資料5 平成30年7月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	10	0	4	0	3	15	2	0	17
2	イソシギ	4	2	0	0	0	6	0	0	6
3	イワツバメ	1	0	18	4	0	1	22	0	23
4	ウミネコ	2	1	0	0	0	2	0	1	3
5	オオヨシキリ	5	4	0	0	0	9	0	0	9
6	オナガ	14	6	72	44	51	14	107	66	187
7	カイツブリ	0	0	6	0	0	0	6	0	6
9	カルガモ	12	3	28	9	46	20	78	0	98
10	カワウ	14	13	1	1	6	30	1	4	35
11	カワセミ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
12	カワラヒワ	12	2	0	1	5	3	10	7	20
13	キジバト	26	13	27	26	20	11	53	48	112
14	ゴイサギ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
15	コサギ	5	1	1	0	0	7	0	0	7
16	シジュウカラ	8	13	23	10	18	3	29	40	72
17	スズメ	556	235	142	324	339	292	537	767	1,596
18	セグロセキレイ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
19	ダイサギ	1	5	2	0	0	8	0	0	8
20	ツバメ	96	27	34	18	60	135	29	71	235
21	ツミ	0	0	0	0	6	0	6	0	6
22	ハクセキレイ	18	3	1	0	4	18	3	5	26
23	ハシブトガラス	22	29	40	32	62	23	71	91	185
24	ハシボソガラス	13	6	77	14	15	22	61	42	125
25	ハヤブサ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
26	バン	0	0	4	0	0	0	4	0	4
27	ヒバリ	9	0	0	0	0	9	0	0	9
28	ヒヨドリ	9	7	13	16	26	10	25	36	71
29	ムクドリ	274	260	206	299	304	429	574	340	1,343
30	メジロ	0	0	0	0	5	0	0	5	5
	合計	1,115	630	702	798	970	1,072	1,620	1,523	4,215
*	カラスSP	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	総合計(羽)	1,116	630	702	798	970	1,072	1,621	1,523	4,216

資料 6 平成30年9月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	13	4	1	0	1	19	0	0	19
2	イソシギ	5	2	0	0	0	7	0	0	7
3	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
4	イワツバメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
5	ウミネコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
6	オオジュリン	0	0	1	0	0	0	1	0	1
7	オオバン	2	0	0	0	0	2	0	0	2
8	オオヨシキリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
9	オナガ	10	4	71	50	43	8	93	77	178
10	カイツブリ	0	0	5	0	0	0	5	0	5
11	カルガモ	12	6	32	2	6	37	21	0	58
12	カワウ	12	25	2	1	3	43	0	0	43
13	カワセミ	0	0	2	2	1	3	2	0	5
14	カワラヒワ	28	3	1	0	2	6	8	20	34
15	キジバト	10	8	18	26	21	7	28	48	83
16	ゴイサギ	0	1	0	0	1	1	0	1	2
17	コゲラ	0	0	0	3	1	0	3	1	4
18	コサギ	3	5	5	0	0	13	0	0	13
19	コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
20	コチドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
21	シジュウカラ	21	11	26	14	18	11	52	27	90
22	スズメ	580	211	173	303	409	392	440	844	1,676
23	ダイサギ	2	1	2	0	0	5	0	0	5
24	チュウサギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
25	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
26	ツバメ	42	3	1	0	47	74	1	18	93
27	ツミ	0	0	1	0	2	0	3	0	3
28	ハクセキレイ	20	7	2	3	4	28	2	6	36
29	ハシブトガラス	35	38	18	40	73	32	71	101	204
30	ハシボソガラス	30	17	45	23	44	41	54	64	159
31	ハヤブサ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
32	バン	0	0	1	0	0	0	1	0	1
33	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
34	ヒヨドリ	10	9	33	24	12	25	24	39	88
35	ムクドリ	525	189	93	153	226	322	312	552	1,186
36	モズ	2	2	0	0	1	3	0	2	5
37	ユリカモメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	合計	1,371	549	534	644	915	1,091	1,122	1,800	4,013
*	カモ S P	6	0	0	0	0	6	0	0	6
*	カラス S P	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	総合計(羽)	1,378	549	534	644	915	1,097	1,122	1,801	4,020

(参考)ワカケホンセイインコ	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

資料7 平成30年11月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	9	10	3	0	2	21	2	1	24
2	アオジ	3	4	0	1	0	5	0	3	8
3	イソシギ	4	2	1	0	2	9	0	0	9
4	イソヒヨドリ	1	1	0	0	0	0	0	2	2
5	ウグイス	0	1	0	0	3	1	2	1	4
6	ウミネコ	2	5	0	0	2	9	0	0	9
7	オオジュリン	0	0	1	0	0	1	0	0	1
8	オオバン	65	31	29	0	7	121	11	0	132
9	オカヨシガモ	0	0	0	0	5	5	0	0	5
10	オナガ	12	10	19	41	20	5	39	58	102
11	オナガガモ	0	0	9	0	54	0	63	0	63
12	カイツブリ	0	0	10	0	0	4	6	0	10
13	カモメ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
14	カルガモ	19	0	78	28	54	98	81	0	179
15	カワウ	27	47	4	3	7	85	2	1	88
16	カワセミ	0	1	2	1	0	2	2	0	4
17	カワラヒワ	37	38	0	1	6	47	19	16	82
18	キジバト	15	5	21	23	30	16	43	35	94
19	キセキレイ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
20	キンクロハジロ	46	4	0	0	0	50	0	0	50
21	ゴイサギ	0	1	0	0	3	1	0	3	4
22	コガモ	0	0	28	0	1	29	0	0	29
23	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
24	コサギ	3	3	3	1	1	10	1	0	11
25	コチドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
26	シジュウカラ	12	12	30	10	19	15	41	27	83
27	ジョウビタキ	5	5	0	3	3	6	1	9	16
28	スズメ	437	177	146	395	437	216	486	890	1,592
29	セグロカモメ	9	2	0	0	0	10	0	1	11
30	ダイサギ	2	2	2	0	0	5	1	0	6
31	タヒバリ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
32	チュウサギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
33	チョウゲンボウ	2	1	0	0	0	2	0	1	3
34	ツグミ	2	0	0	1	0	0	2	1	3
35	トビ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
36	ハクセキレイ	56	27	20	12	17	63	41	28	132
37	ハシブトガラス	37	23	30	29	126	25	56	164	245
38	ハシボソガラス	27	13	39	32	27	34	50	54	138
39	ハヤブサ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
40	バン	0	0	5	0	0	0	5	0	5
41	ヒドリガモ	32	3	27	0	25	72	15	0	87
42	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
43	ヒヨドリ	194	108	180	211	309	145	399	458	1,002
44	ホオジロ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
45	ホシハジロ	6	0	9	0	1	15	1	0	16
46	マガモ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
47	ムクドリ	530	135	100	165	309	165	305	769	1,239
48	メジロ	7	14	15	5	22	0	23	40	63
49	モズ	12	10	3	0	0	22	3	0	25
50	ユリカモメ	88	44	3	0	12	127	1	19	147
	合計	1,717	739	819	962	1,505	1,458	1,703	2,581	5,742
*	カモSP	25	0	0	0	0	25	0	0	25
*	カモメSP	4	1	0	0	0	5	0	0	5
*	ヒタキSP	1	0	0	0	0	1	0	0	1
*	ホオジロSP	4	0	0	0	0	4	0	0	4
	総合計(羽)	1,751	740	819	962	1,505	1,493	1,703	2,581	5,777

資料 8 平成31年1月に確認された野鳥

	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	7	5	2	0	4	16	2	0	18
2	アオジ	1	5	2	0	0	5	1	2	8
3	アトリ	0	0	9	0	0	0	9	0	9
4	イソシギ	3	5	2	0	1	11	0	0	11
5	ウグイス	1	1	0	0	2	1	3	0	4
6	ウミネコ	0	1	0	0	1	2	0	0	2
7	オオジュリン	6	12	3	0	0	21	0	0	21
8	オオセグロカモメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
9	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
10	オオバン	87	31	84	0	48	230	14	6	250
11	オナガ	29	3	32	33	37	14	63	57	134
12	オナガガモ	0	6	9	0	73	6	82	0	88
13	カイツブリ	2	2	8	0	0	4	8	0	12
14	カシラダカ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
15	カモメ	3	0	0	3	3	9	0	0	9
16	カルガモ	26	26	71	25	43	128	63	0	191
17	カワウ	159	104	1	4	18	258	5	23	286
18	カワセミ	0	0	1	1	0	1	1	0	2
19	カワラヒワ	33	33	30	24	26	26	62	58	146
20	カンムリカイツブリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
21	キジバト	20	11	74	31	30	12	96	58	166
22	キンクロハジロ	42	0	37	0	15	94	0	0	94
23	クイナ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
24	クサシギ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
25	ゴイサギ	0	0	0	0	4	0	0	4	4
26	コガモ	6	0	26	0	0	32	0	0	32
27	コゲラ	0	0	0	0	3	1	2	0	3
28	コサギ	0	0	1	0	2	1	2	0	3
29	コチドリ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
30	シジュウカラ	34	5	49	13	25	10	64	52	126
31	シメ	0	3	4	0	4	6	5	0	11
32	ジョウビタキ	5	1	0	4	2	4	6	2	12
33	スズメ	408	160	230	351	403	220	512	820	1,552
34	セイタカシギ	1	3	0	0	0	4	0	0	4
35	セグロカモメ	5	0	0	0	1	6	0	0	6
36	セッカ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
37	ダイサギ	1	0	1	0	0	1	1	0	2
38	チョウゲンボウ	0	2	0	0	2	3	0	1	4
39	ツグミ	17	4	0	3	2	19	2	5	26
40	ツミ	0	0	0	0	3	3	0	0	3
41	ハクセキレイ	27	21	17	12	34	53	26	32	111
42	ハシビロガモ	0	0	2	0	0	1	1	0	2
43	ハシブトガラス	20	24	46	32	125	37	64	146	247
44	ハシボンガラス	28	15	58	12	31	34	67	43	144
45	バン	1	0	10	0	0	2	9	0	11
46	ヒドリガモ	159	30	104	0	121	376	38	0	414
47	ヒバリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
48	ヒヨドリ	121	96	140	148	288	154	300	339	793
49	ビンズイ	10	0	0	0	0	10	0	0	10
50	ホオジロ	13	3	0	0	0	16	0	0	16
51	ホシハジロ	20	0	17	0	18	55	0	0	55
52	マガモ	0	2	0	0	2	3	1	0	4
53	ムクドリ	372	228	123	307	256	421	323	542	1,286
54	メジロ	38	6	24	18	52	5	74	59	138
55	モズ	9	4	1	0	1	12	2	1	15
56	ユリカモメ	218	131	106	0	227	594	76	12	682
	合計	1,937	985	1,329	1,021	1,907	2,932	1,985	2,262	7,179
*	カモSP	33	0	0	0	0	33	0	0	33
*	カイツブリSP	0	0	1	0	0	1	0	0	1
*	カラスSP	5	0	0	0	2	4	0	3	7
	総合計(羽)	1,975	985	1,330	1,021	1,909	2,970	1,985	2,265	7,220

資料9 平成31年3月に確認された野鳥

	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	0	1	0	2	7	1	0	8
2	アオジ	9	13	2	1	0	24	1	0	25
3	アカハラ	0	1	0	1	0	1	1	0	2
4	アトリ	0	0	25	0	0	0	25	0	25
5	イソシギ	2	3	0	0	0	5	0	0	5
6	イソヒヨドリ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
7	ウグイス	1	1	1	1	2	3	1	2	6
8	ウミネコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
9	オオジュリン	26	4	1	0	0	31	0	0	31
10	オオバン	72	26	103	4	37	218	24	0	242
11	オナガ	1	0	20	34	30	0	39	46	85
12	オナガガモ	0	2	2	0	23	2	25	0	27
13	カイツブリ	0	0	8	1	0	1	8	0	9
14	カモメ	3	0	0	0	3	6	0	0	6
15	カルガモ	27	30	57	11	29	95	59	0	154
16	カワウ	33	57	6	2	29	113	6	8	127
17	カワセミ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
18	カワラヒワ	87	23	60	5	22	77	77	43	197
19	カンムリカイツブリ	2	0	1	0	0	3	0	0	3
20	キジバト	30	12	54	30	48	17	83	74	174
21	キンクロハジロ	10	11	9	0	2	32	0	0	32
22	クイナ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
23	ゴイサギ	0	1	0	0	1	1	0	1	2
24	コガモ	34	5	33	0	0	66	6	0	72
25	コゲラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
26	コサギ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
27	シジュウカラ	22	5	64	8	22	11	61	49	121
28	シメ	0	0	12	1	0	0	13	0	13
29	ジョウビタキ	2	0	2	0	1	1	3	1	5
30	シロハラ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
31	スズメ	469	221	182	460	398	293	561	876	1,730
32	セグロカモメ	8	1	0	0	2	11	0	0	11
33	セグロセキレイ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
34	ダイサギ	0	2	0	0	6	6	0	2	8
35	タヒバリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
36	チョウゲンボウ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
37	ツグミ	103	81	33	10	13	170	50	20	240
38	ハクセキレイ	45	17	14	14	20	58	34	18	110
39	ハシビロガモ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
40	ハシブトガラス	31	28	28	47	101	34	73	128	235
41	ハシボソガラス	48	32	52	33	28	57	70	66	193
42	バン	2	0	10	0	0	5	7	0	12
43	ヒドリガモ	64	13	79	0	41	165	32	0	197
44	ヒバリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
45	ヒヨドリ	98	62	121	148	139	87	216	265	568
46	ビンズイ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
47	ホオジロ	5	9	0	0	0	14	0	0	14
48	ホシハジロ	0	1	14	0	1	16	0	0	16
49	マガモ	7	0	0	0	0	7	0	0	7
50	ムクドリ	276	329	167	107	225	505	283	316	1,104
51	メジロ	26	9	16	11	58	14	53	53	120
52	モズ	10	3	0	0	0	13	0	0	13
53	ユリカモメ	161	68	17	0	82	317	8	3	328
	合計	1,733	1,072	1,203	930	1,366	2,508	1,824	1,972	6,304
*	カモSP	10	0	0	0	1	11	0	0	11
*	カモメSP	0	0	0	1	0	1	0	0	1
*	カラスSP	7	0	0	0	0	3	0	4	7
	総合計(羽)	1,750	1,072	1,203	931	1,367	2,523	1,824	1,976	6,323
(参考)	ワカケホンセイインコ	0	0	0	0	2	2	0	0	2

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
54	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
55			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	2	3	2	2
59			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49	51	39
60			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
61			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギSP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809	9,297	7,376
64			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482	610	319
65			カモメ	0	26	13	28	4	53	6	8	12	0	0
66			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
67			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419	413	307
68			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	0	1	3	19	10	0
69			コアジサシ	9	0	56	46	75	163	64	29	34	81	21
70			アジサシ	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
*			カモメSP	0	0	0	0	3	7	1	3	4	0	0
71	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
72		タカ	トビ	0	2	2	0	0	0	4	1	1	1	2
73			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
74			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
*			タカSP	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
75	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
77			コムミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0	0	0
78	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5	8	6
79	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14	12	21
80			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
81	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44	32	78
82			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
83	スズメ	モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45	48	56
84		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557	545	630
86			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397	1,456	1,340
87			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910	3,899	3,725
*			カラスSP	0	0	0	0	1	10	10	39	10	0	0
88		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0	0	0
89		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
90			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
91			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
92			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121	230	179
93		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180	193	197
94		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0
95			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391	711	492
96			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79	44	25
97		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008	3,245	3,213
98		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37	51	47
*			ウグイスSP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
99		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
100		ムシクイ	メボソムシクイ	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
101			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
102		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223	436	545
103		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128	97	104
104			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
105		セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104	90	57
106		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0
107			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
108		ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566	6,728	6,913
109			コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0	71	0
110		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7	7	7

No	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	0	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5	3	2	4
56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58	6	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0	0	5	21
59	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60	80	110	47
60	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
61	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	4	0	0
62	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63	6,200	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010	848	1,588	1,825	1,859	1,168
64	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121	20	14	17
65	2	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2	1	7	18
66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
67	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119	54	69	28
68	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1	3	0	1
69	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17	25	27	18
70	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60	14	0	6
71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
72	2	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2	0	1	1
73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	6	13
74	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2	1	0	1
*	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9	10	15	14
79	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21	22	18	10
80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
81	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10	11	19	12
82	4	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0	3	1	3
83	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68	83	73	61
84	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644	798	893	897
86	1,229	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965	842	975	946	893	879
87	3,936	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184	1,097	1,197	1,274
*	0	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22	22	5	16
88	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
89	0	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0	0	0	0
90	4	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
91	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2	0	0	0
92	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585	612	657	575
93	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33	24	27	22
94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371	476	360	487
96	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55</				

資料11 平成30年度 野鳥モニター活動記録

- 4月 野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
- 4月21日（土）野鳥モニター基礎研修会
- 5月 野鳥生息調査（1回目）
- 7月 野鳥生息調査（2回目）
- 7月30日（月）野鳥モニター調査報告会（29年度調査分）
- 9月 野鳥生息調査（3回目）
- 11月 野鳥生息調査（4回目）
- 11月18日（日）区民向け野鳥観察会
- 1月 野鳥生息調査（5回目）
- 1月19日（土）野鳥モニター研修会（菅生沼）
- 3月 野鳥生息調査（6回目）



基礎研修会



調査報告会



観察会



研修会

令和元年10月発行

発行 足立区

編集 足立区 環境部 環境政策課 環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目17番1号
電話03 - 3880 - 5860